

参考資料

ダイバーシティ経営推進のために求められる 転勤政策の検討

研究の概要とアンケート調査結果

2016年11月29日
(2017年3月6日改訂版)

中央大学大学院戦略経営研究科

ワーク・ライフ・バランス&多様性推進・研究プロジェクト

I 調査研究の概要

1. 調査研究の概要

(1) 目的と概要

転勤は、人事管理において「異動管理」に組み込まれて運用されており、日本企業の長期的な雇用関係を前提にした従業員の採用・育成策とも密接に関連しているために、ブラックボックス化しており、その現状や課題に関してこれまでほとんど明らかにされてきていない。しかし近年、転勤は、WLB・多様性推進の阻害要因の一つと考えられ、そのあり方について制度・施策を検討する企業の例が増えてきている。さらに、転勤は、「限定正社員制度」の議論とも関わるテーマであり、この観点からも検討が求められている。

本プロジェクトでは、企業の人事政策における「転勤」の位置づけ及びその現状を明らかにするとともに、従業員の転勤に対する意識や転勤への対応の現状等の実態把握を行い、企業の「転勤政策」に関する課題を整理し、今後の「転勤政策」のあり方に関してその選択肢を提示することを目的に、調査研究を行った。

(2) 研究体制

「転勤政策に関する研究会」を組成した。研究会は、以下の研究者メンバーとプロジェクト参加企業メンバーのうち本テーマに関心がある企業メンバーが参加した。

【研究者メンバー】（敬称略、五十音順）

佐藤博樹（中央大学大学院 戦略経営研究科 教授） プロジェクト代表

武石恵美子（法政大学キャリアデザイン学部 教授） 研究推進リーダー

池田心豪（独立行政法人労働政策研究・研修機構 主任研究員）

石原直子（リクルートワークス研究所 Works 編集長）

高村静（中央大学大学院 戦略経営研究科 特任研究員、内閣府上席政策調査員）

松浦民恵（（株）ニッセイ基礎研究所 主任研究員）

松原光代（学習院大学経済学部 特別客員教授）

矢島洋子（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング（株） 主席研究員、中央大学大学院戦略経営研究科客員教授）

(3) 研究方法

研究は、以下により進めてきた。

- a. 研究会の開催
- b. 企業ヒアリング調査の実施
- c. 企業及び個人の対するアンケート調査の実施

2. アンケート調査の概要

アンケートは、企業調査データと個人調査データの2種類である。両調査はそれぞれ別々に実施しており、データのマッチングはできない。

① 企業調査「転勤や遠距離介護等の実態と課題に関する企業調査」

調査対象は、正社員規模 300 人以上の民間企業で、公務、医療、福祉、教育を除く全業種の企業を無作為サンプリングした（帝国データバンク）。

調査票において、まず事業所展開を尋ねており、「本社から転居を伴う異動を必要とする事業所が国内もしくは国外にある」企業のみ設問への回答を求めた。

調査は郵送による配布・回収により実施し、依頼対象数 6,473 社、回答数 610 社。分析対象となる複数事業所がある企業は 370 社。

調査期間は、2015 年 11 月 24 日～12 月 11 日。

*本調査は、日本学術振興会科学研究費助成事業の基盤研究(B)課題番号 25285112（研究代表者：佐藤博樹）により実施した。

② 個人調査「転勤の実態把握に関する調査」

調査対象は、正社員規模 300 人以上の民間企業に勤務し、以下のすべての条件に該当する個人。

- ・年齢は 30-49 歳
- ・学歴は大卒以上
- ・現在の勤務先で転居転勤経験あり、もしくはその可能性がある
- ・転職経験がない新卒入社の者
- ・医療、福祉、教育を除く全業種

調査は、インテージリサーチ社のモニターを対象とする WEB 調査で実施した。

有効回答者数は 1525 名。

調査期間は 2015 年 10 月 23 日～10 月 27 日。

主な個人属性は、男性が 89.5%、学歴は四年制大卒 76.1%、大学院卒が 23.9%、有配偶率は 72.5%、子どもありは 57.6%、要介護者との同居は 1.1%、持ち家率は 61.6%（持ち家に居住は 56.2%）。

*本調査は、中央大学戦略経営研究科 ワーク・ライフ・バランス&多様性推進・研究プロジェクトにおいて実施した。

Ⅱ 企業調査（単純集計結果）

問2. 本社所在地の都道府県をお答えください。（具体的に）

n %	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県
370	19	2	7	9	2	5	2	7	3	2
100	5.1	0.5	1.9	2.4	0.5	1.4	0.5	1.9	0.8	0.5

埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県
8	4	116	9	2	6	4	2	1	5
2.2	1.1	31.4	2.4	0.5	1.6	1.1	0.5	0.3	1.4

岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
2	4	25	3	3	1	23	16	2	2
0.5	1.1	6.8	0.8	0.8	0.3	6.2	4.3	0.5	0.5

鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県
2	0	10	17	3	3	4	2	1	18
0.5	0.0	2.7	4.6	0.8	0.8	1.1	0.5	0.3	4.9

佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	無回答
0	0	1	2	2	3	3	3
0.0	0.0	0.3	0.5	0.5	0.8	0.8	0.8

問3. 貴社の事業所数はいくつですか。本社を含めてお答えください。（具体的に）

n %	1~3 カ所	4~5 カ所	6~7 カ所	8~9 カ所	10~15 カ所	16~20 カ所	21~50 カ所	51カ所 以上	無回答	平均数	中央値
370	33	30	24	35	58	24	98	64	4		
100	8.9	8.1	6.5	9.5	15.7	6.5	26.5	17.3	1.1	40.3	16.0

問4. 貴社の本社以外の事業所展開の状況について、当てはまるものを1つ選んでください。（1つに○）

n %	国内のみに 事業所がある	海外のみに 事業所がある	国内・海外の 両方に事業所 がある	無回答
370	267	0	100	3
100	72.2	0.0	27.0	0.8

問5. 貴社の業種のうち主なものを1つ選んでください。(1つに○)

n %	鉱業、 採石業、 砂利採取 業	建設業	製造業	電気・ ガス・ 熱供給・ 水道業	情報 通信業	運輸業、 郵便業	卸売業	小売業
	370 100	0 0.0	30 8.1	104 28.1	1 0.3	20 5.4	31 8.4	27 7.3

n %	金融業、 保険業	不動産 業、物品 賃貸業	宿泊業	飲食サー ビス業	教育、学 習支援業	医療、 福祉	その他サ ービス業	その他	無回答
	17 4.6	3 0.8	8 2.2	5 1.4	1 0.3	1 0.3	55 14.9	19 5.1	1 0.3

問6. 出資形態はどれに該当しますか。(1つに○)

n %	国内資本のみ	外資系企業	その他	無回答
370 100	350 94.6	7 1.9	12 3.2	1 0.3

問7. 労働組合が組織されていますか。(1つに○)

n %	組織されている	組織されていない	無回答
370 100	192 51.9	178 48.1	0 0.0

問8. 貴社の正社員について、人数、管理職(課長相当職以上)の人数、平均勤続年数を男女別に記入してください。(具体的に)

正社員人数(SA)

・男性社員数

n %	0人	1~ 50人	51~ 100人	101~ 300人	301~ 500人	501~ 1000人	1001 人以上	無回答	平均 人数	中央値
370 100	0 0.0	2 0.5	8 2.2	115 31.1	116 31.4	60 16.2	55 14.9	14 3.8	851.9	358.5

管理職人数(SA)

・男性正社員

n %	0人	1~ 30人	31~ 50人	51~ 100人	101~ 300人	301~ 500人	501人 以上	無回答	平均 人数	中央値
370 100	0 0.0	61 16.5	55 14.9	114 30.8	83 22.4	15 4.1	20 5.4	22 5.9	184.5	71.5

男性正社員の平均勤続年数(SA)

n %	1年未満	1～5年	6～9年	10～14 年	15～20 年	21年 以上	無回答	平均 年数	中央値
370	0	14	46	76	140	51	43		
100	0.0	3.8	12.4	20.5	37.8	13.8	11.6	16.0	16.0

正社員人数(SA)

・女性正社員数

n %	0人	1～ 30人	31～ 50人	51～ 100人	101～ 150人	151～ 200人	201人 以上	無回答	平均 人数	中央値
370	0	44	50	109	51	27	75	14		
100	0.0	11.9	13.5	29.5	13.8	7.3	20.3	3.8	212.1	84.0

管理職人数(SA)

・女性正社員

n %	0人	1～ 30人	31～ 50人	51～ 100人	101～ 150人	151～ 200人	201人 以上	無回答	平均 人数	中央値
370	103	219	5	11	3	1	3	25		
100	27.8	59.2	1.4	3.0	0.8	0.3	0.8	6.8	10.4	2.0

女性性社員の平均勤続年数(SA)

n %	1年未満	1～5年	6～9年	10～14 年	15～20 年	21年 以上	無回答	平均 年数	中央値
370	2	35	86	109	70	24	44		
100	0.5	9.5	23.2	29.5	18.9	6.5	11.9	12.4	11.4

問9. 貴社の正社員に関して、勤務地の範囲による雇用区分を設けていますか。(1つに○)

n %	設けている	設けていない	無回答
370	99	269	2
100	26.8	72.7	0.5

【「1 設けている」と回答した企業の方にお尋ねします】

問9-1. 貴社の勤務地の範囲による雇用区分の数はいくつですか。そのうち転居を伴う転勤(転勤)がある区分はいくつですか。(具体的に)

勤務地の範囲による雇用区分数(SA)

n %	0区分	1区分	2区分	3～4 区分	5～6 区分	7～8 区分	9～10 区分	11区 分以上	無回答	平均 区分	中央値
99	0	7	47	29	2	1	2	0	11		
100	0.0	7.1	47.5	29.3	2.0	1.0	2.0	0.0	11.1	2.7	2.0

勤務地の範囲による雇用区分のうち転勤がある区分数(SA)

n %	0区分	1区分	2区分	3~4区分	5~6区分	7~8区分	9~10区分	11区分以上	無回答	平均区分	中央値
99	3	62	16	6	1	0	1	0	10		
100	3.0	62.6	16.2	6.1	1.0	0.0	1.0	0.0	10.1	1.4	1.0

問9-2. 転勤がある区分、うち海外勤務がある区分、実際に海外赴任をしている社員について、その人数、うち女性の人数のおおよその数をお答えください。(具体的に)

転勤がある区分、うち海外勤務がある区分等の社員数(SA)

<正社員数>

	n %	0人	1~10人	11~50人	51~100人	101~150人	151~200人	201人以上	無回答	平均人数	中央値
転勤がある区分の正社員	99	3	0	2	4	3	3	70	14		
	100	3.0	0.0	2.0	4.0	3.0	3.0	70.7	14.1	1265.1	401.0
うち海外勤務がある区分の正社員	99	30	1	1	0	2	2	40	23		
	100	30.3	1.0	1.0	0.0	2.0	2.0	40.4	23.2	1153.6	232.0
実際に海外赴任をしている正社員	99	31	33	7	3	2	0	2	21		
	100	31.3	33.3	7.1	3.0	2.0	0.0	2.0	21.2	26.8	2.0

<うち女性の人数>

	n %	0人	1~10人	11~30人	31~50人	51~100人	101~150人	151人以上	無回答	平均人数	中央値
転勤がある区分の正社員	99	8	11	17	7	14	8	20	14		
	100	8.1	11.1	17.2	7.1	14.1	8.1	20.2	14.1	170.0	50.0
うち海外勤務がある区分の正社員	99	34	6	8	2	7	3	15	24		
	100	34.3	6.1	8.1	2.0	7.1	3.0	15.2	24.2	152.7	5.0
実際に海外赴任をしている正社員	99	62	13	0	0	0	0	0	24		
	100	62.6	13.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.2	0.4	0.0

問9-3. 転勤がある区分の40歳代の正社員の中で、実際には転勤を経験していない割合について、当てはまるものを1つ選んでください。(1つに○)

n %	ほぼ全員	8-9割程度	6-7割程度	半数割程度	3-4割程度	1-2割程度以下	ほとんどいない	無回答
99	3	6	15	10	15	21	20	9
100	3.0	6.1	15.2	10.1	15.2	21.2	20.2	9.1

問9-4. 雇用区分の間を転換できる制度はありますか。(1つに○)

n %	雇用区分間相互に転換できる制度がある	勤務地の制約が「ない」から「ある」区分にのみ転換できる制度がある	勤務地の制約が「ある」から「ない」区分にのみ転換できる制度がある	転換の制度はないが運用実績はある	転換の制度も運用実績もない	無回答
99	61	10	10	10	3	5
100	61.6	10.1	10.1	10.1	3.0	5.1

問9-5. 勤務地の制約が「ない」雇用区分と「ある」雇用区分の社員の間、処遇制度面での違いがありますか。雇用区分が3区分以上の場合、異動の範囲が最も広い区分と最も狭い区分との比較でお答えください。(いくつでも○)

n %	制約が「ある」区分の社員が昇進できる職位に上限を設けている	賃金テーブル(基本給体系)が異なる	勤務地の制約が「ない」区分に手当を支給する	雇用保障の考え方が異なる	その他	無回答
99	62	70	6	1	7	8
100	62.6	70.7	6.1	1.0	7.1	8.1

問9-5-1. 上限の職位をお答えください。(1つに○)

n %	部長相当職以上まで	課長相当職まで	主任、係長相当職まで	役職には就かない	その他	無回答
62	6	20	19	10	4	3
100	9.7	32.3	30.6	16.1	6.5	4.8

問9-6. 勤務地の制約が「ない」区分と「ある」区分の社員について、40歳時点で、役職昇進、平均的な賃金水準(時間当たり)でどのような違いがありますか。雇用区分が3区分以上の場合、異動の範囲が最も広い区分と最も狭い区分との比較でお答えください。

<役職昇進>

n %	勤務地の制約が「ない」区分の社員が明らかに役職が高い	勤務地の制約が「ない」区分の社員が役職が高い傾向にある	両者に違いはない	無回答
99	52	25	14	8
100	52.5	25.3	14.1	8.1

<平均的な賃金水準>

n %	勤務地の制約が「ない」区分の社員が3割以上高い	勤務地の制約が「ない」区分の社員が2割程度高い	勤務地の制約が「ない」区分の社員が1割程度高い	両者に違いはない	無回答
99	24	33	20	9	13
100	24.2	33.3	20.2	9.1	13.1

【「2 設けていない」と回答した企業の方にお尋ねします】

問9-7. 40 歳代の正社員の中で、実際には転職を経験していない割合について、当てはまるものを1つ選んでください。(1つに○)

n %	ほぼ全員	8-9割 程度	6-7割 程度	半数割 程度	3-4割 程度	1-2割 程度以下	ほとんど いない	無回答
269	38	78	45	34	17	33	17	7
100	14.1	29.0	16.7	12.6	6.3	12.3	6.3	2.6

問10. 貴社の人材育成の方針は、AとBのどちらに近いですか。複数の雇用区分がありそれぞれに方針が異なる場合には、最も基幹的な仕事をする区分に関してお答えください。(それぞれ1つに○)

(1) 能力開発の責任の所在(SA)

A: 社員の能力開発を行うのは、企業の責任である

B: 能力開発に責任を持つのは、社員個人である

n %	Aの方 -計-	Aである	Aに近い	Bに近い	Bである	Bの方 -計-	無回答
370	291	62	229	75	4	79	0
100	78.6	16.8	61.9	20.3	1.1	21.4	0.0

(2) 育成対象者の範囲(SA)

A: 育成対象として特定の社員を選抜する

B: 育成対象として社員を選抜することはしない

n %	Aの方 -計-	Aである	Aに近い	Bに近い	Bである	Bの方 -計-	無回答
370	206	32	174	119	45	164	0
100	55.7	8.6	47.0	32.2	12.2	44.3	0.0

(3) 育成方針(SA)

A: 専門的な人材の育成を重視する

B: 専門性だけでなく幅広い能力や知識を持つ人材の育成を重視する

n %	Aの方 -計-	Aである	Aに近い	Bに近い	Bである	Bの方 -計-	無回答
370	132	15	117	197	40	237	1
100	35.7	4.1	31.6	53.2	10.8	64.1	0.3

(4) 育成と移動の関連の有無(SA)

A: 多くの社員が異動により多様な仕事や職場を経験する事を重視する

B: 将来の経営幹部層など一部の社員が異動により多様な仕事や職場を経験すればよい

n %	Aの方 -計-	Aである	Aに近い	Bに近い	Bである	Bの方 -計-	無回答
370	237	57	180	117	15	132	1
100	64.1	15.4	48.6	31.6	4.1	35.7	0.3

(5)人事異動における社員の同意の必要性(SA)

A: 人事異動は企業(人事部門)の責任で行うので本人同意は必要ない

B: 人事異動には本人同意が必要である

n %	Aの方 一計一	Aである	Aに近い	Bに近い	Bである	Bの方 一計一	無回答
370	217	58	159	115	38	153	0
100	58.6	15.7	43.0	31.1	10.3	41.4	0.0

問11. 貴社の一般的な人事異動の状況について、当てはまるものを1つ選んでください。(1つに○)

n %	異動がある 一計一	定期異動 のみがある	定期異動と必 要に応じた異 動の両方が ある	定期異動は 無く、必要に 応じた異動 のみがある	異動自体が (ほとんど) ない	無回答
370	354	6	226	122	11	5
100	95.7	1.6	61.1	33.0	3.0	1.4

【「1 定期異動のみがある」「2 定期異動と必要に応じた異動の両方がある」「3 定期異動はなく、必要に応じた異動のみがある」と回答した企業の方にお尋ねします】

問11-1. 人事異動を行う目的について、重要なものを3つまで選んでください。(3つまで○)

n %	事業活 動の変 化に対 応する ため	組織運 営の必 要性か ら	組織の 活性化 のため	役職に 就かせ るため	社員の 経験拡 大など 人材育 成のため	マンリ 化を防 いで意 欲向上 を図る ため	不正防 止のため	その他	無回答
354	193	244	205	40	248	43	31	4	1
100	54.5	68.9	57.9	11.3	70.1	12.1	8.8	1.1	0.3

【すべての企業の方にお尋ねします】

問12. 貴社では、女性の活躍(管理職登用や職域の拡大など)を支援する取組を経営課題として重視していますか。(1つに○)

n %	重視して いる 一計一	非常に重 視している	やや重視 している	どちらとも いえない	あまり 重視して いない	まったく 重視して いない	重視して いない 一計一	無回答
370	225	91	134	96	40	9	49	0
100	60.8	24.6	36.2	25.9	10.8	2.4	13.2	0.0

問13. 社員が転職をすることについては何によって規定していますか。(いくつでも○)

n %	就業規則	労働協約	労使協定	それ以外の 社内規定	特に文書の 規定等はない	無回答
370	333	65	23	49	16	4
100	90.0	17.6	6.2	13.2	4.3	1.1

問14. 転勤の対象となる社員は、メインの勤務地(いわゆる本拠地)というものがありますか。(1つに○)

n %	全員が本社 をメインの 勤務地と する	当初の採用 地域をメイ ンの勤務地 とする	社員がメイ ンの勤務地 を選ぶこと としている	メインの勤 務地がある 社員とない 社員がいる	メインの勤 務地と言う 考え方は ない	その他	無回答
370	25	126	23	27	154	13	2
100	6.8	34.1	6.2	7.3	41.6	3.5	0.5

問15. 実際の転勤のパターンについて、次にあげるパターン別に割合をご記入ください。(具体的に)

n %	0割	1割 未満	1割	2割	3割	4割	5割	
1. 転勤をすると、 その後また別の地域に 転勤する	370 100	28 7.6	4 1.1	45 12.2	21 5.7	20 5.4	8 2.2	12 3.2
2. メインの勤務地と 特定(1, 2か所)の 勤務地を行き来する	370 100	31 8.4	2 0.5	28 7.6	25 6.8	21 5.7	9 2.4	14 3.8
3. メインの勤務地と 複数の勤務地を行き来 する	370 100	52 14.1	5 1.4	39 10.5	24 6.5	23 6.2	13 3.5	14 3.8
4. その他	370 100	60 16.2	1 0.3	5 1.4	3 0.8	1 0.3	1 0.3	1 0.3

n %	6割	7割	8割	9割	10割	無回答	平均 割合	中央値
1. 転勤をすると、 その後また別の地域に 転勤する	370 100	9 2.4	12 3.2	14 3.8	5 1.4	78 21.1	114 30.8	4.0 5.0
2. メインの勤務地と 特定(1, 2か所)の 勤務地を行き来する	370 100	9 2.4	7 1.9	21 5.7	16 4.3	48 13.0	139 37.6	3.5 4.0
3. メインの勤務地と 複数の勤務地を行き来 する	370 100	4 1.1	1 0.3	4 1.1	3 0.8	12 3.2	176 47.6	1.5 2.0
4. その他	370 100	0 0.0	4 1.1	1 0.3	2 0.5	27 7.3	264 71.4	1.1 0.0

問16. 社員の異動についての正式な内示は、実際の異動のどの程度前に行っていますか。国内赴任、海外赴任に関してそれぞれ当てはまるものを1つ選んでください。

【国内赴任】

n %	1か月以上 前	3週間程度 前	2週間程度 前	1週間程度 前	個別ケース により異なる	国内赴任は ない	無回答
370	138	47	62	32	84	5	2
100	37.3	12.7	16.8	8.6	22.7	1.4	0.5

【海外赴任】

n %	3か月以上 前	2-3か月 程度前	1-2か月 程度前	2-3週間 程度前	個別ケース により異なる	海外赴任は ない	無回答
370	39	27	28	8	44	161	63
100	10.5	7.3	7.6	2.2	11.9	43.5	17.0

問17. 1回の転勤について、赴任期間の上限を設定していますか。国内赴任、海外赴任に関してそれぞれ当てはまるものを1つ選んでください。また、上限がある場合(目安も含む)の赴任期間の上限年数をご記入ください。

1回の転勤について、赴任期間の上限の設定(SA)

【国内赴任】

n %	上限/目安 がある-計-	上限を定めて いる	目安がある	上限も目安も ない	国内赴任は ない	無回答
370	109	16	93	246	12	3
100	29.5	4.3	25.1	66.5	3.2	0.8

赴任期間の上限年数(SA)

【国内赴任】

n %	1年	2年	3年	4年	5年	6年 以上	無回答	平均 年数	中央値
109	0	6	38	9	36	12	8		
100	0.0	5.5	34.9	8.3	33.0	11.0	7.3	4.3	4.0

1回の転勤について、赴任期間の上限の設定(SA)

【海外赴任】

n %	上限/目安が ある-計-	上限を定めて いる	目安がある	上限も目安も ない	海外赴任は ない	無回答
370	95	20	75	47	178	50
100	25.7	5.4	20.3	12.7	48.1	13.5

赴任期間の上限年数(SA)

【海外外任】

n %	1年	2年	3年	4年	5年	6年 以上	無回答	平均 年数	中央値
95	3	7	22	6	46	2	9		
100	3.2	7.4	23.2	6.3	48.4	2.1	9.5	4.1	5.0

問18. 転勤を内示する際に、人事として、社員に対し赴任期間を明示していますか。国内赴任、海外赴任に関してそれぞれ当てはまるものを1つ選んでください。

【国内赴任】

n %	明示している	明示する場合 としない場合 がある	明示はしない が社員は 予想が出来る	明示して おらず社員は 予想出来ない	国内赴任は ない	無回答
370	32	102	53	170	10	3
100	8.6	27.6	14.3	45.9	2.7	0.8

【海外赴任】

n %	明示している	明示する場合 としない場合 がある	明示はしない が社員は 予想が出来る	明示して おらず社員は 予想出来ない	海外赴任は ない	無回答
370	48	38	30	26	177	51
100	13.0	10.3	8.1	7.0	47.8	13.8

問19. 転勤を実施する目的に関して、次にあげる項目はどれくらい重要ですか。社員の年代別にお答えください。(①～⑨について、それぞれ1つずつ)

【20歳代、30歳代】

	n %	重要で はない —計—	重要で はない	あまり重 要では ない	どちら ともいえ ない	やや 重要で ある	重要で ある	重要で ある —計—	無回答
①事業所等の拠点展開の都合から	370	32	11	21	69	125	134	259	10
	100	8.6	3.0	5.7	18.6	33.8	36.2	70.0	2.7
②社員の仕事経験の幅を広げる	370	7	3	4	36	166	154	320	7
	100	1.9	0.8	1.1	9.7	44.9	41.6	86.5	1.9
③社員が業務に必要な人的なネットワークを拡大する	370	43	7	36	109	142	67	209	9
	100	11.6	1.9	9.7	29.5	38.4	18.1	56.5	2.4
④知らない地域での新しい経験により社員の成長を加速させる	370	36	9	27	80	152	94	246	8
	100	9.7	2.4	7.3	21.6	41.1	25.4	66.5	2.2
⑤転勤をしないと経験できないポストや仕事がある	370	109	39	70	115	104	34	138	8
	100	29.5	10.5	18.9	31.1	28.1	9.2	37.3	2.2
⑥(建設現場等のように)遠隔地で業務が発生する	370	180	117	63	95	53	28	81	14
	100	48.6	31.6	17.0	25.7	14.3	7.6	21.9	3.8
⑦関係者との癒着等の不正を防止する	370	176	67	109	98	64	20	84	12
	100	47.6	18.1	29.5	26.5	17.3	5.4	22.7	3.2
⑧社員が希望する	370	76	26	50	144	113	27	140	10
	100	20.5	7.0	13.5	38.9	30.5	7.3	37.8	2.7
⑨その他	370	14	14	0	32	3	1	4	320
	100	3.8	3.8	0.0	8.6	0.8	0.3	1.1	86.5

【40歳代】

	n %	重要で はない —計—	重要で はない	あまり重 要では ない	どちら ともいえ ない	やや 重要で ある	重要で ある	重要で ある —計—	無回答
①事業所等の拠点展開の 都合から	370	16	7	9	41	140	164	304	9
	100	4.3	1.9	2.4	11.1	37.8	44.3	82.2	2.4
②社員の仕事経験の幅を 広げる	370	15	2	13	69	182	97	279	7
	100	4.1	0.5	3.5	18.6	49.2	26.2	75.4	1.9
③社員が業務に必要な人的 なネットワークを拡大する	370	42	7	35	101	153	64	217	10
	100	11.4	1.9	9.5	27.3	41.4	17.3	58.6	2.7
④知らない地域での新しい 経験により社員の成長を加 速させる	370	50	8	42	107	149	56	205	8
	100	13.5	2.2	11.4	28.9	40.3	15.1	55.4	2.2
⑤転勤をしないと経験できな いポストや仕事がある	370	75	29	46	101	122	64	186	8
	100	20.3	7.8	12.4	27.3	33.0	17.3	50.3	2.2
⑥(建設現場等のように) 遠隔地で業務が発生する	370	170	109	61	99	57	30	87	14
	100	45.9	29.5	16.5	26.8	15.4	8.1	23.5	3.8
⑦関係者との癒着等の 不正を防止する	370	139	56	83	102	83	32	115	14
	100	37.6	15.1	22.4	27.6	22.4	8.6	31.1	3.8
⑧社員が希望する	370	78	27	51	156	99	26	125	11
	100	21.1	7.3	13.8	42.2	26.8	7.0	33.8	3.0
⑨その他	370	16	15	1	31	6	1	7	316
	100	4.3	4.1	0.3	8.4	1.6	0.3	1.9	85.4

問20. 転職を受け入れることにしている社員と受け入れないことにしている社員との間には、仕事への取り組み姿勢などに違いがあるとお考えですか。(いくつでも○)

n %	転職を受け入れる社員は仕事への意欲が高い	転職を受け入れる社員は業務遂行能力が高い	転職を受け入れる社員は企業への忠誠心(ロイヤリティ)が高い	転職を受け入れる社員には将来性が期待できる	特に違いはない	一方のタイプのみ社員しかいないので比べられない	無回答
370	166	87	122	110	106	34	6
100	44.9	23.5	33.0	29.7	28.6	9.2	1.6

問21. 同じ雇用区分でも転職を経験した社員と経験していない社員との間には、仕事への取り組み姿勢などに違いがあるとお考えですか。(いくつでも○)

n %	転職経験により仕事への意欲が高まる	転職経験により業務遂行能力が高まる	転職経験により仕事の専門性が高まる	転職経験によりマネジメントする能力が高まる	転職経験者は一般的に昇進が速い	特に違いはない	一方のタイプのみ社員しかいないので比べられない	無回答
370	96	157	90	157	68	103	10	8
100	25.9	42.4	24.3	42.4	18.4	27.8	2.7	2.2

問22. 転職を受け入れている社員について、処遇面で評価する制度がありますか。(いくつでも○)

n %	転職をした時に自動的に昇格する	転職しないと昇格しない	昇進選抜において転職経験者を優遇する	転職先から戻る際に配属先や仕事内容の希望を聴く	転職に応じて支給される手当がある	その他	特にない	無回答
370	6	9	41	25	123	11	192	6
100	1.6	2.4	11.1	6.8	33.2	3.0	51.9	1.6

問23. 転職の決定にあたって、本人の希望や事情にどの程度配慮しますか。(1つに○)

n %	本人の同意が得られない限り転職させない	本人の希望や事情を優先して決める	本人の希望や事情をきくが会社の事情を優先して決める	その他	無回答
370	48	73	232	13	4
100	13.0	19.7	62.7	3.5	1.1

問24. 本人の申し出により転職を回避できる制度がありますか。(1つに○)

n %	ある	ない	無回答
370	154	214	2
100	41.6	57.8	0.5

【「1 ある」と回答した企業の方にお尋ねします】

問24-1. 転勤を回避できる事由について、当てはまるものをすべて選んでください。(いくつでも○)

n %	本人の 健康 状態	結婚	家族の 病気、 看護	家族の 介護	出産・ 育児	子供の 教育	配偶者 の仕事	持家を取 得済みで あること	自己啓 発をして いること	その他	無回答
154	125	43	122	123	78	37	21	19	5	13	6
100	81.2	27.9	79.2	79.9	50.6	24.0	13.6	12.3	3.2	8.4	3.9

問24-2. 回避できる期間に制限がありますか。(1つに○)

n %	ある	ない	無回答
154	16	130	8
100	10.4	84.4	5.2

【すべての企業の方にお尋ねします】

問25. 転勤に関して導入している制度や施策で、下記に該当するものがありますか。(当てはまるものすべてに○)

n %	転勤の希望等 に関する自己 申告等の制度 がある	社内公募制度 や社内FA制度 等社員自ら手を 挙げて異動する 制度がある	個人の希望する 本拠地を決めて いる	転勤する範囲を 一定のエリア内 に限定する	転勤をしない区 分の社員でも希 望により転勤を 実施している
370	186	84	49	52	30
100	50.3	22.7	13.2	14.1	8.1

	一定年齢以上 になると転勤を 免除する制度が ある	一定年齢までは 希望する勤務地 を選択できる 制度がある	一定年齢以上 になると希望す る勤務地を選択 できる制度が ある	その他	特にない	無回答
	0	3	6	4	115	14
	0.0	0.8	1.6	1.1	31.1	3.8

問26. 「〇歳以上の社員は転勤対象から除外する」など、転勤の対象とする社員に年齢上限を設けていますか。(1つに○)

n %	設けている	設けていない	無回答
370	9	357	4
100	2.4	96.5	1.1

【「1 設けている」と回答した企業の方にお尋ねします】

問26-1. 転勤の対象とする上限の年齢は何歳に設定していますか。(1つに○)

n %	44歳以下	44～49歳	50～54歳	55歳以上	その他	無回答
9	0	0	1	4	4	0
100	0.0	0.0	11.1	44.4	44.4	0.0

【すべての企業の方にお尋ねします】

問27. 転勤をしている社員の中で、単身赴任の割合はどの程度ですか。(1つに○)

n %	ほぼ全員	8～9割程度	6～7割程度	半数割程度	3～4割程度	1～2割程度	ほとんどいない	無回答
370	21	37	39	46	61	103	57	6
100	5.7	10.0	10.5	12.4	16.5	27.8	15.4	1.6

問28. 貴社には、遠方に住む親族を介護する社員がいますか。(1つに○)

n %	いる	いない	わからない	無回答
370	83	91	193	3
100	22.4	24.6	52.2	0.8

問29. 遠方に住む親族を介護する社員を支援する制度・施策について実施しているものをお答えください。(いくつでも○)

n %	介護の為に交通費の補助	親族を呼び寄せる為の費用補助	親族居住地への異動希望社員の措置	介護サービスの紹介	その他	実施していない	無回答
370	12	4	40	15	32	267	14
100	3.2	1.1	10.8	4.1	8.6	72.2	3.8

問30. 貴社の社員の配偶者の転勤に対応する制度等がありますか。(いくつでも○)

n %	配偶者の赴任先に自社の社員を異動させる制度がある	配偶者の赴任先に自社の社員を異動させるよう努める事としている	配偶者の転勤に伴い自社の社員が一定期間休職できる制度がある	配偶者の転勤に伴い退職した社員を一定期間内に再雇用する制度がある	その他	制度等はない	無回答
370	7	49	13	27	8	282	6
100	1.9	13.2	3.5	7.3	2.2	76.2	1.6

【「3 配偶者の転勤に伴い自社の社員を一定期間休職できる制度がある」と回答した企業の方にお尋ねします】

問30-1. 休職期間は最長何年間ですか。(具体的に)

n %	1年	2年	3年	4年	5年以上	無回答	平均年数	中央値
13	1	1	6	0	5	0		
100	7.7	7.7	46.2	0.0	38.5	0.0	5.0	3.0

【すべての企業の方にお尋ねします】

問31. 転勤を実施する上で課題と考えていることはありますか。(いくつでも○)

n %	コストに比べて人材育成面でのメリットが小さい	転勤を忌避する人が多く人材確保が難しい	転勤を忌避して退職する社員がいる	転勤をする社員が一部に偏在しており転勤社員の不満がある	転勤をしない社員がいる事について転勤がない区分の社員の不満がある	転勤の有無による労働条件の格差に対してない区分の社員の不満がある
370	32	98	79	79	29	8
100	8.6	26.5	21.4	21.4	7.8	2.2

n %	個別事情に配慮しなければならぬ社員が増えている	単身赴任が増えている	海外赴任を希望しない傾向がみられる	その他	特にない	無回答
167	80	27	13	90	3	
45.1	21.6	7.3	3.5	24.3	0.8	

問32. 転勤の実施にあたって、本人の希望や事情を聴くことについてどのようにお考えですか。

(1つに○)

n %	本人の納得性を高める為にはすべてのケースで不可欠だ	特定の事情については配慮が不可欠だ	個別に配慮していると異動に支障をきたすので困難だ	そもそも本人の意志や事情を聴く必要はない	その他	無回答
370	68	233	59	5	3	2
100	18.4	63.0	15.9	1.4	0.8	0.5

問33. 今後、転勤対象者の範囲についてどのようにお考えですか。(1つに○)

n %	現在よりも範囲を限定していく方向	現状維持の方向である	現在よりも範囲を拡大していく方向	その他	特に考えていない	無回答
370	28	208	75	2	52	5
100	7.6	56.2	20.3	0.5	14.1	1.4

問34. 貴社では、転勤が可能な社員は、正社員全体の何割くらいが適正だと考えますか。もしそれを減らす場合に、最大限何割まで減らせるとお考えですか。(具体的に)

転勤可能社員の適正な割合(SA)

n %	1割未満	1割	2割	3割	4割	5割	6割	7割	8割以上	無回答	平均割合	中央値
370	5	31	32	42	16	34	23	52	76	59		
100	1.4	8.4	8.6	11.4	4.3	9.2	6.2	14.1	20.5	15.9	5.3	5.0

転勤可能社員の減らせる最大限な割合(SA)

n %	1割未満	1割	2割	3割	4割	5割	6割	7割	8割以上	無回答	平均割合	中央値
370	20	51	45	29	18	54	20	9	25	99		
100	5.4	13.8	12.2	7.8	4.9	14.6	5.4	2.4	6.8	26.8	3.6	3.0

問35. 貴社の転勤政策の方針や制度について、検討していることがありますか。(いくつでも○)

n %	1人当りの 転勤の頻度を 減らす	1人当りの 転勤の頻度を 増やす	赴任期間を 短縮する	赴任期間を 長期化する	赴任期間を 明示する	社員の事情や 希望を聴く 制度を導入
370	15	26	37	3	46	62
100	4.1	7.0	10.0	0.8	12.4	16.8

	地域ごとの採 用を拡大する	転勤のない 区分の社員を 増やす	転勤のない 区分の社員の 処遇引上げ	その他	検討している ことはない	無回答
	94	27	6	26	152	10
	25.4	7.3	1.6	7.0	41.1	2.7

Ⅱ-参考 企業調査票

転勤や遠距離介護等の実態と課題に関する企業調査

<調査の趣旨など>

- 1 本調査は、日本学術振興会科学研究費の基盤研究(B)、研究課題「大介護時代の企業や自治体の仕事と介護の両立支援のあり方」(課題番号 25285112)(研究代表者:佐藤博樹)において、中央大学戦略経営研究科 ワーク・ライフ・バランス&多様性推進・研究プロジェクトと連携して実施するものです。(プロジェクトホームページ URL <http://c-faculty.chuo-u.ac.jp/~wlb/>)。
- 2 研究プロジェクトは、2008年10月に開始し、企業におけるワーク・ライフ・バランス推進と働き方の関係などに関する調査研究を行ってきています。ワーク・ライフ・バランスやダイバーシティ経営を推進する上で今後重要な検討課題になると考えられる企業の転勤政策に関して、その現状を把握し課題を抽出し、今後の転勤のあり方について検討を行うための基礎データを得るために、本調査を企画しました。本調査は、企業の異動管理や転勤政策の実態を把握する内容となっております。本調査の結果は、統計的な処理を行った上で、政策提言等を含め社会に広く発信することとしております。

プロジェクトの転勤研究会メンバー (◎はプロジェクト代表、○は転勤研究会主査)

池田心豪 (独立行政法人労働政策研究・研修機構 副主任研究員)

石原直子 (株式会社リクルート ワークス研究所 Works 編集長)

◎佐藤博樹 (中央大学大学院 戦略経営研究科教授)

高村静 (中央大学 ビジネススクール特任研究員、内閣府上席政策調査員)

○武石恵美子 (法政大学 キャリアデザイン学部教授)

松浦民恵 (ニッセイ基礎研究所 生活研究部主任研究員)

松原光代 (学習院大学 経済学部特別客員教授)

矢島洋子 (三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 主席研究員)

<回答のお願い>

- 1 ご回答いただいた内容は全て統計的に処理し、個々の回答をそのままの形で公表することは絶対にありませんので、ありのままをご回答ください。
- 2 調査票は主に人事・労務担当者の方にご回答いただくようお願いいたします。特にことわりのない場合、調査にご回答いただく時点は、2015年11月現在(又は把握されている直近)の状況でお答えください。
- 3 設問へのご回答は、選択肢がある場合はその番号を○で囲み、それ以外の場合は適宜ご記入ください。なお、各問において特別の回答方法をお願いしている場合はそれに沿ってお答えください。
- 4 回答のご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒を用いて、2015年12月4日(金)までにご投函ください。
- 5 この調査は、企業を単位として行っています。したがって、本社事業所だけでなく、支店、出張所、営業所等を含めた会社全体についてお答えください(なお、貴社が純粋持株会社の場合には、グループの最も基幹的な事業を行っている1社についてお答えください)。
- 6 この調査についてのご質問については、下記担当までお問い合わせください。

7 本調査の趣旨をご理解の上、何とぞご協力くださいますようお願い申し上げます。

貴社の事業所の状況について

問1. 貴社の事業所展開の状況をお答えください。(1つに○)

1 本社のみである	} 1、2にご回答の方は本調査の回答は終了です。調査票をご返送ください。
2 本社以外に事業所があるが、すべて通勤圏内である	
3 本社から転居を伴う異動を必要とする事業所が国内もしくは海外にある	

3に回答した企業の方は、以下の設問にご回答をお願いいたします。

I 業種や社員数など

問2. 本社所在地の都道府県をお答えください。(具体的に)

都道府県名

問3. 貴社の事業所数はいくつですか。本社を含めてお答えください。(具体的に)

本社を含めて カ所

問4. 貴社の本社以外の事業所展開の状況について、当てはまるものを1つ選んでください。(1つに○)

1 国内のみに事業所がある
2 海外のみに事業所がある
3 国内・海外の両方に事業所がある

問5. 貴社の業種のうち主なものを1つ選んでください。(1つに○)

1 鉱業、採石業、砂利採取業	9 金融業、保険業
2 建設業	10 不動産業、物品賃貸業
3 製造業	11 宿泊業
4 電気・ガス・熱供給・水道業	12 飲食サービス業
5 情報通信業	13 教育、学習支援業
6 運輸業、郵便業	14 医療、福祉
7 卸売業	15 その他サービス業 ()
8 小売業	16 その他 ()

問6. 出資形態はどれに該当しますか。(1つに○)

1 国内資本のみ
2 外資系企業(資本金全体に占める外国資本が1/3程度を超える)
3 その他 (具体的に)

問7. 労働組合が組織されていますか。(1つに○)

1 組織されている	2 組織されていない
-----------	------------

問8. 貴社の正社員について、人数、管理職（課長相当職以上）の人数、平均勤続年数を男女別に記入してください。（具体的に）

	正社員の人数	管理職（課長相当職以上）の人数	平均勤続年数
男性正社員	人	人	年
女性正社員	人	人	年

Ⅱ. 正社員の雇用区分について

問9. 貴社の正社員に関して、勤務地の範囲による雇用区分を設けていますか。（1つに○）

1 設けている	→ 問 9-1 へ
2 設けていない	→ 問 9-7 へ

問9で「1 設けている」と回答した企業の方にお尋ねします。

問 9-1 貴社の勤務地の範囲による雇用区分の数はいくつですか。そのうち転居を伴う転勤（転勤）がある区分はいくつですか。（具体的に）

勤務地の範囲による雇用区分は 区分
 うち 転勤がある区分は 区分

問 9-2 転勤がある区分、うち海外勤務がある区分、実際に海外赴任をしている社員について、その人数、うち女性の人数のおおよその数をお答えください。（具体的に）

	正社員数	うち女性の人数
転勤がある区分の正社員	人	人
うち海外勤務がある区分の正社員	人	人
実際に海外赴任をしている正社員	人	人

問 9-3 転勤がある区分の 40 歳代の正社員の中で、実際には転勤を経験していない割合について、当てはまるものを1つ選んでください。（1つに○）

1 ほぼ全員（ほとんどの社員が転勤を経験していない）
2 8-9 割程度
3 6-7 割程度
4 半数割程度
5 3-4 割程度
6 1-2 割程度以下

7 ほとんどいない（ほぼ全員が転勤を経験している）

問 9-4 雇用区分の間を転換できる制度はありますか。（1つに○）

- 1 雇用区分間相互に転換できる制度がある
- 2 勤務地の制約が「ない」区分から「ある」区分にのみ転換ができる制度がある
- 3 勤務地の制約が「ある」区分から「ない」区分にのみ転換ができる制度がある
- 4 転換の制度はないが運用実績はある
- 5 転換の制度も運用実績もない

問 9-5 勤務地の制約が「ない」雇用区分と「ある」雇用区分の社員の間、処遇制度面での違いがありますか。雇用区分が3区分以上の場合、異動の範囲が最も広い区分と最も狭い区分との比較でお答えください。（いくつでも○）

- 1 勤務地の制約が「ある」区分の社員が昇進できる職位に上限を設けている
- 2 賃金テーブル（基本給体系）が異なる
- 3 勤務地の制約が「ない」区分に手当を支給する
- 4 雇用保障の考え方が異なる

問 9-5-1 上限の職位をお答えください。（1つに○）

- 1 部長相当職以上まで
- 2 課長相当職まで
- 3 主任、係長相当職まで
- 4 役職には就かない
- 5 その他
(具体的に)

問 9-6 勤務地の制約が「ない」区分と「ある」区分の社員について、40歳時点で、役職昇進、平均的な賃金水準（時間当たり）でどのような違いがありますか。雇用区分が3区分以上の場合、異動の範囲が最も広い区分と最も狭い区分との比較でお答えください。

【役職昇進】（1つに○）

- 1 勤務地の制約が「ない」区分の社員が明らかに役職が高い
- 2 個人差はあるものの、勤務地の制約が「ない」区分の社員が役職が高い傾向にある
- 3 両者に違いはない

【平均的な賃金水準】（1つに○）

- 1 勤務地の制約が「ない」区分の社員が3割以上高い
- 2 勤務地の制約が「ない」区分の社員が2割程度高い
- 3 勤務地の制約が「ない」区分の社員が1割程度高い
- 4 両者に違いはない

問 9 で「2 設けていない」と回答した企業の方にお尋ねします。

問 9-7 40歳代の正社員の中で、実際には転勤を経験していない割合について、当てはまるものを1つ選んでください。（1つに○）

- 1 ほぼ全員（ほとんどの社員が転勤を経験していない）
- 2 8-9割程度
- 3 6-7割程度
- 4 半数割程度
- 5 3-4割程度

- | | |
|---|-------------------------|
| 6 | 1-2割程度以下 |
| 7 | ほとんどいない（ほぼ全員が転勤を経験している） |

すべての企業の方にお尋ねします。

Ⅲ. 貴社の人材育成の考え方や配置転換について

問10. 貴社の人材育成の方針は、AとBのどちらに近いですか。複数の雇用区分がありそれぞれに方針が異なる場合には、最も基幹的な仕事をする区分に関してお答えください。（それぞれ1つに○）

A	1 Aである	2 Aに近い	3 Bに近い	4 Bである	B
---	-----------	-----------	-----------	-----------	---

(1) 能力開発の責任の所在

A : 社員の能力開発を行うのは、企業の責任である	1	2	3	4	B : 能力開発に責任を持つのは、社員個人である
---------------------------	---	---	---	---	--------------------------

(2) 育成対象者の範囲

A : 育成対象として特定の社員を選抜する	1	2	3	4	B : 育成対象として社員を選抜することはしない
-----------------------	---	---	---	---	--------------------------

(3) 育成方針

A : 専門的な人材の育成を重視する	1	2	3	4	B : 専門性だけでなく幅広い能力や知識をもつ人材の育成を重視する
--------------------	---	---	---	---	-----------------------------------

(4) 育成と異動の関連の有無

A : 多くの社員が異動により多様な仕事や職場を経験することを重視する	1	2	3	4	B : 将来の経営幹部層など一部の社員が異動により多様な仕事や職場を経験すればよい
-------------------------------------	---	---	---	---	---

(5) 人事異動における社員の同意の必要性

A : 人事異動は企業（人事部門）の責任で行うので本人同意は必要ない	1	2	3	4	B : 人事異動には本人同意が必要である
------------------------------------	---	---	---	---	----------------------

問11. 貴社の一般的な人事異動の状況について、当てはまるものを1つ選んでください。（1つに○）

- | | | | |
|---|-----------------------|---|----------|
| 1 | 定期異動のみがある | } | 問 11-1 へ |
| 2 | 定期異動と必要に応じた異動の両方がある | | |
| 3 | 定期異動はなく、必要に応じた異動のみがある | | |
| 4 | 異動自体が（ほとんど）ない | | → 問 12 へ |

「1 定期異動のみがある」「2 定期異動と必要に応じた異動の両方がある」「3 定期異動はなく、必要に応じた異動のみがある」と回答した企業の方にお尋ねします。

問 11-1 人事異動を行う目的について、重要なものを3つまで選んでください。(3つまで○)

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | 事業活動の変化に対応するため |
| 2 | 組織運営の必要性から |
| 3 | 組織の活性化のため |
| 4 | 役職に就かせるため |
| 5 | 社員の経験の拡大など人材育成のため |
| 6 | マンネリ化を防いで社員の意欲向上を図るため |
| 7 | 不正防止のため |
| 8 | その他（具体的に |

)

すべての企業の方にお尋ねします。

問12. 貴社では、女性の活躍（管理職登用や職域の拡大など）を支援する取組を経営課題として重視していますか。（1つに○）

- | | |
|---|-------------|
| 1 | 非常に重視している |
| 2 | やや重視している |
| 3 | どちらともいえない |
| 4 | あまり重視していない |
| 5 | まったく重視していない |

IV. 転居を伴う転勤（転勤）の実態について

問13. 社員が転勤をすることについては何によって規定していますか。（いくつでも○）

- | | |
|---|-------------------|
| 1 | 就業規則 |
| 2 | 労働協約 |
| 3 | 労使協定 |
| 4 | それ以外の社内規定 |
| 5 | 慣行であり、特に文書の規定等はない |

問14. 転勤の対象となる社員は、メインの勤務地（いわゆる本拠地）というものがありますか。（1つに○）

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | 全員が本社をメインの勤務地とする |
| 2 | 当初の採用地域をメインの勤務地とする |
| 3 | 社員がメインの勤務地を選ぶこととしている |
| 4 | メインの勤務地がある社員とない社員がいる。 |
| 5 | メインの勤務地という考え方はない |
| 6 | その他（具体的に |

)

問15. 実際の転勤のパターンについて、次にあげるパターン別に割合をご記入ください。(具体的に)

	割合 (計が 10)
1 転勤をすると、その後また別の地域に転勤する	
2 メインの勤務地と特定 (1, 2 か所) の勤務地を行き来する	
3 メインの勤務地と複数の勤務地を行き来する	
4 その他 (具体的に)	
計	10.0

問16. 社員の異動についての正式な内示は、実際の異動のどの程度前に行っていますか。国内赴任、海外赴任に関してそれぞれ当てはまるものを1つ選んでください。

【国内赴任】(1つに○)

【海外赴任】(1つに○)

1 1か月以上前
2 3週間程度前
3 2週間程度前
4 1週間程度前
5 個別ケースにより異なる

1 3か月以上前
2 2-3か月程度前
3 1-2か月程度前
4 2-3週間程度前
5 個別ケースにより異なる

問17. 1回の転勤について、赴任期間の上限を設定していますか。国内赴任、海外赴任に関してそれぞれ当てはまるものを1つ選んでください。また、上限がある場合(目安も含む)の赴任期間の上限年数をご記入ください。

【国内赴任】(1つに○)

1 上限を定めている	} → 赴任期間の上限の年数は _____ 年まで
2 目安がある	
3 上限も目安もない	
4 国内赴任はない	

【海外赴任】(1つに○)

1 上限を定めている	} → 赴任期間の上限の年数は _____ 年まで
2 目安がある	
3 上限も目安もない	
4 海外赴任はない	

問18. 転勤を内示する際に、人事として、社員に対し赴任期間を明示していますか。国内赴任、海外赴任に関してそれぞれ当てはまるものを1つ選んでください。

【国内赴任】(1つに○)

【海外赴任】(1つに○)

1 明示している
2 明示する場合としない場合がある
3 明示することにはしていないが社員は予想ができる
4 明示しておらず社員は予想もできない

1 明示している
2 明示する場合としない場合がある
3 明示することにはしていないが社員は予想ができる
4 明示しておらず社員は予想もできない

問19. 転勤を実施する目的に関して、次にあげる項目はどれくらい重要ですか。社員の年代別にお答えください。

【20 歳代、30 歳代】（①～⑨について、それぞれ1つずつ）

	重要ではない	あまり重要ではない	どちらともいえない	やや重要である	重要である
①事業所等の拠点展開の都合から	1	2	3	4	5
②社員の仕事経験の幅を広げる	1	2	3	4	5
③社員が業務に必要な人的なネットワークを拡大する	1	2	3	4	5
④知らない地域での新しい経験により社員の成長を加速させる	1	2	3	4	5
⑤転勤をしないと経験できないポストや仕事がある	1	2	3	4	5
⑥（建設現場などのように）遠隔地で業務が発生する	1	2	3	4	5
⑦関係者との癒着等の不正を防止する	1	2	3	4	5
⑧社員が希望する	1	2	3	4	5
⑨その他（具体的に)	1	2	3	4	5

【40 歳代】（①～⑨について、それぞれ1つずつ）

	重要ではない	あまり重要ではない	どちらともいえない	やや重要である	重要である
①事業所等の拠点展開の都合から	1	2	3	4	5
②社員の仕事経験の幅を広げる	1	2	3	4	5
③社員が業務に必要な人的なネットワークを拡大する	1	2	3	4	5
④知らない地域での新しい経験により社員の成長を加速させる	1	2	3	4	5
⑤転勤をしないと経験できないポストや仕事がある	1	2	3	4	5
⑥（建設現場などのように）遠隔地で業務が発生する	1	2	3	4	5
⑦関係者との癒着等の不正を防止する	1	2	3	4	5
⑧社員が希望する	1	2	3	4	5
⑨その他（具体的に)	1	2	3	4	5

問20. 転勤を受け入れることにしている社員と受け入れないことにしている社員との間には、仕事への取り組み姿勢などに違いがあるとお考えですか。（いくつでも○）

1	転勤を受け入れる社員は仕事への意欲が高い
2	転勤を受け入れる社員は業務遂行能力が高い
3	転勤を受け入れる社員は企業への忠誠心（ロイヤリティ）が高い
4	転勤を受け入れる社員には将来性が期待できる
5	特に違いはない
6	一方のタイプのみ社員しかいないので比べられない

問21. 同じ雇用区分でも転勤を経験した社員と経験していない社員との間には、仕事への取り組み姿勢などに違いがあるとお考えですか。(いくつでも○)

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | 転勤経験により仕事への意欲が高まる |
| 2 | 転勤経験により業務遂行能力が高まる |
| 3 | 転勤経験により仕事の専門性が高まる |
| 4 | 転勤経験によりマネジメントする能力が高まる |
| 5 | 転勤経験者は一般的に昇進が速い |
| 6 | 特に違いはない |
| 7 | 一方のタイプのみ社員しかいないので比べられない |

問22. 転勤を受け入れている社員について、処遇面で評価する制度がありますか。(いくつでも○)

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | 転勤した時に自動的に昇格する |
| 2 | 転勤しないと昇格しない |
| 3 | 昇進選抜において転勤経験者を優遇する |
| 4 | 転勤先から戻る際に配属先や仕事内容の希望を聴く |
| 5 | 転勤に応じることによって支給される手当がある |
| 6 | その他(具体的に) |
| 7 | 特になし |

問23. 転勤の決定にあたって、本人の希望や事情にどの程度配慮しますか。(1つに○)

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 | 本人の同意が得られない限り転勤させない |
| 2 | 本人の希望や事情を優先して決める |
| 3 | 本人の希望や事情をきくが会社の事情を優先して決める |
| 4 | その他(具体的に) |

問24. 本人の申し出により転勤を回避できる制度がありますか。(1つに○)

- | | | | |
|---|----|---|----------|
| 1 | ある | → | 問 24-1 へ |
| 2 | ない | → | 問 25 へ |

「1 ある」と回答した企業の方にお尋ねします。

問 24-1 転勤を回避できる事由について、当てはまるものをすべて選んでください。(いくつでも○)

- | | |
|----|---------------------------|
| 1 | 本人の健康状態 |
| 2 | 結婚 |
| 3 | 家族の病気、看護 |
| 4 | 家族の介護 |
| 5 | 出産・育児 |
| 6 | 子どもの教育(受験など) |
| 7 | 配偶者の仕事 |
| 8 | 持家を取得済みであること |
| 9 | 自己啓発をしていること(大学や大学院への通学など) |
| 10 | その他(具体的に) |

問 24-2 回避できる期間に制限がありますか。(1 つに○)

1 ある	2 ない
------	------

すべての企業の方にお尋ねします。

問25. 転勤に関して導入している制度や施策で、下記に該当するものがありますか。(当てはまるものすべてに○)

1 転勤の希望等に関する自己申告等の制度がある
2 社内公募制度や社内 FA 制度など社員自ら手を挙げて異動する制度がある
3 個人の希望する本拠地を決めている (そのような雇用区分がある場合を含む)
4 転勤する範囲を一定のエリア内に限定する (そのような雇用区分がある場合を含む)
5 転勤をしない区分の社員でも希望により転勤を実施している
6 一定年齢以上になると転勤を免除する制度がある
7 一定年齢までは希望する勤務地を選択できる制度がある
8 一定年齢以上になると希望する勤務地を選択できる制度がある
9 その他 (具体的に)
10 特にない

問26. 「○歳以上の社員は転勤対象から除外する」など、転勤の対象とする社員に年齢上限を設けていますか。(1 つに○)

1 設けている	→ 問 26-1 へ
2 設けていない	→ 問 27 へ

「1 設けている」と回答した企業の方にお尋ねします。

問 26-1 転勤の対象とする上限の年齢は何歳に設定していますか。(1 つに○)

1 44 歳以下
2 45～49 歳
3 50～54 歳
4 55 歳以上
5 その他 (具体的に)

すべての企業の方にお尋ねします。

問27. 転勤をしている社員の中で、単身赴任の割合はどの程度ですか。(1 つに○)

1 ほぼ全員
2 8-9 割程度
3 6-7 割程度
4 半数割程度
5 3-4 割程度
6 1-2 割程度以下
7 ほとんどいない

問28. 貴社には、遠方に住む親族を介護する社員がいますか。(1つに○)

- | | | |
|------|-------|---------|
| 1 いる | 2 いない | 3 わからない |
|------|-------|---------|

問29. 遠方に住む親族を介護する社員を支援する制度・施策について実施しているものをお答えください。(いくつでも○)

- | |
|---------------------------------|
| 1 介護のための交通費の補助 |
| 2 親族を呼び寄せるための費用補助 |
| 3 親族が住んでいる地域への居住を希望する社員を異動させる措置 |
| 4 介護サービスの紹介 |
| 5 その他(具体的に) |
| 6 実施していない |

問30. 貴社の社員の配偶者の転勤に対応する制度等がありますか。(いくつでも○)

- | |
|--|
| 1 配偶者の赴任先に自社の社員を異動させる制度がある |
| 2 配偶者の赴任先に自社の社員を異動させるよう努めることとしている(制度化はしていない) |
| 3 配偶者の転勤に伴い自社の社員が一定期間休職できる制度がある → 問30-1へ |
| 4 配偶者の転勤に伴い退職した自社の社員を一定期間内に再雇用する制度がある |
| 5 その他(具体的に) |
| 6 制度等はない |

問30-1 「3 配偶者の転勤に伴い自社の社員を一定期間休職できる制度がある」と回答した企業の方に

お尋ねします。

問30-1 休職期間は最長何年間ですか。(具体的に)

最長

年まで

すべての企業の方にお尋ねします。

V. 転居を伴う転勤(転勤)の課題や今後の方向性について

問31. 転勤を実施する上で課題と考えていることはありますか。(いくつでも○)

- | |
|---|
| 1 コストに比べて人材育成面でのメリットが小さい |
| 2 転勤を忌避する人が多く人材確保が難しい |
| 3 転勤を忌避して退職する社員がいる |
| 4 転勤をする社員が一部に偏在しており転勤をしている社員の不満がある |
| 5 転勤がある区分でも転勤をしない社員がいることについて、転勤がない区分の社員の不満がある |
| 6 転勤の有無による労働条件の格差に対して転勤がない区分の社員の不満がある |
| 7 個別事情に配慮しなければならない社員が増えている |
| 8 単身赴任が増えている |
| 9 海外赴任を希望しない傾向がみられる |
| 10 その他(具体的に) |
| 11 特になし |

問32. 転勤の実施にあたって、本人の希望や事情を聴くことについてどのようにお考えですか。
(1つに○)

- | | | |
|---|----------------------------------|---|
| 1 | 本人の納得性を高めるためにはすべてのケースで不可欠だ | |
| 2 | 特定の事情については配慮が不可欠だ | |
| 3 | 必要性はわかるが、個別に配慮していると異動に支障を来すので困難だ | |
| 4 | そもそも本人の意思や事情を聴く必要はない | |
| 5 | その他（具体的に |) |

問33. 今後、転勤対象者の範囲についてどのようにお考えですか。(1つに○)

- | | | |
|---|---------------------|---|
| 1 | 現在よりも範囲を限定していく方向である | |
| 2 | 現状維持の方向である | |
| 3 | 現在よりも範囲を拡大していく方向である | |
| 4 | その他（具体的に |) |
| 5 | 特に考えていない | |

問34. 貴社では、転勤が可能な社員は、正社員全体の何割くらいが適正だと考えますか。もしそれを減らす場合に、最大限何割まで減らせるとお考えですか。(具体的に)

適正な割合は 約 割
最大限 約 割まで減らすことは可能

問35. 貴社の転勤政策の方針や制度について、検討していることがありますか。(いくつでも○)

- | | | |
|----|-----------------------------|---|
| 1 | 1人当たりの転勤の頻度を減らす | |
| 2 | 1人当たりの転勤の頻度を増やす | |
| 3 | 赴任期間を短縮する | |
| 4 | 赴任期間を長期化する | |
| 5 | 赴任期間を明示する | |
| 6 | 社員の事情や希望を聴く制度を導入する（制度を拡充する） | |
| 7 | 地域ごとの採用を拡大する | |
| 8 | 転勤のない区分の社員を増やす | |
| 9 | 転勤のない区分の社員の処遇を引き上げる | |
| 10 | その他（具体的に |) |
| 11 | 検討していることはない | |

質問は以上です。最後までご協力いただきありがとうございました。
ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、12月4日
(金)までに、ご投函ください。

Ⅲ 個人調査（単純集計結果）

【現在のあなたのお仕事についてうかがいます。】

Q1 勤務先の本社・本店の所在地をお答えください。（回答は1つ）

n %	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県
1525	19	2	5	3	4	3	6	8	5	7
100	1.2	0.1	0.3	0.2	0.3	0.2	0.4	0.5	0.3	0.5

埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県
21	16	868	84	5	10	7	1	3	8
1.4	1.0	56.9	5.5	0.3	0.7	0.5	0.1	0.2	0.5

岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
7	21	82	5	10	24	177	34	1	2
0.5	1.4	5.4	0.3	0.7	1.6	11.6	2.2	0.1	0.1

鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県
0	1	8	11	4	1	5	7	2	21
0.0	0.1	0.5	0.7	0.3	0.1	0.3	0.5	0.1	1.4

佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	海外
1	1	4	1	3	3	2	2
0.1	0.1	0.3	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1

Q2 勤務先の事業所数は、本社を含めていくつですか。（回答は1つ）

n %	5か所未満	5～9か所	10～29か所	30～49か所	50～99か所	100か所以上
1525	133	218	364	162	189	459
100	8.7	14.3	23.9	10.6	12.4	30.1

Q3 勤務先の本社以外の事業所の所在地について、当てはまるものを1つお答えください。
(回答は1つ)

n %	国内のみに 事業所がある	海外のみに 事業所がある	国内と海外の両方に 事業所がある
1525	494	8	1,023
100	32.4	0.5	67.1

Q4 勤務先に労働組合はありますか。(回答は1つ)

n %	労働組合があり、組合 に加入している	労働組合があるが、 組合に加入していない	労働組合はない
1525	887	358	280
100	58.2	23.5	18.4

Q5 勤務先に入社したのはいつですか。(回答は1つ)

n %	2015年	2014年	2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年	2007年	2006年
1525	8	7	9	8	6	17	15	50	77	65
100	0.5	0.5	0.6	0.5	0.4	1.1	1.0	3.3	5.0	4.3

2005年	2004年	2003年	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年	1997年	1996年
58	74	42	54	73	56	64	90	69	64
3.8	4.9	2.8	3.5	4.8	3.7	4.2	5.9	4.5	4.2

1995年	1994年	1993年	1992年	1991年	1990年	1989年	1988年	1987年以前
76	74	93	110	89	87	48	19	23
5.0	4.9	6.1	7.2	5.8	5.7	3.1	1.2	1.5

勤続年数

n %	勤続 1～5年	勤続 6～10年	勤続 11～15年	勤続 16～20年	勤続 21～25年	勤続 26年以上
1525	38	224	301	343	442	177
100	2.5	14.7	19.7	22.5	29.0	11.6

Q6 現在のあなたが担当している仕事(職種)は次の中のどれに近いですか。

※例えば、営業で管理職、専門・技術で管理職の場合は、「管理的な仕事」とお答えください。

(回答は1つ)

n %	専門的な 仕事(法 務、調査 研究など)	技術的な 仕事(SE や技術者 など)	管理的な 仕事(課 長相当職 以上の管 理職)	事務の 仕事	店舗など での販売 の仕事	営業(外 回り等)の 仕事	サービス の仕事	製造や運 輸など現 場の仕事	その他 具体的に:
1525	99	473	349	302	50	194	24	33	1
100	6.5	31.0	22.9	19.8	3.3	12.7	1.6	2.2	0.1

Q7 現在のあなたの職位(役職)は、次の中のどれにあたりますか。(回答は1つ)

n %	一般社員 (役職なし)	主任・係長 クラス	課長代理・ 課長補佐 クラス	課長クラス	部長・次長 クラス以上
1525	490	463	171	326	75
100	32.1	30.4	11.2	21.4	4.9

Q8 以下の業務の中で、あなたがこれまで経験した業務をお答えください。また、現在の業務、あなたのキャリアの中での主たる業務について、それぞれ1つお答えください。ぴったり当てはまらない場合にはできるだけ近いものを選択してください。

これまで経験した業務(回答はいくつでも)

n %	人事・ 総務・ 広報	経理・ 財務	企画・ 調査	研究・ 開発・ 設計	情報 処理	営業	購買・ 外注	販売・ サービ ス	建設・ 製造	物流・ 運輸	その他
1525	206	132	313	584	181	558	64	185	155	72	2
100	13.5	8.7	20.5	38.3	11.9	36.6	4.2	12.1	10.2	4.7	0.1

現在の担当業務(回答は1つ)

n %	人事・ 総務・ 広報	経理・ 財務	企画・ 調査	研究・ 開発・ 設計	情報 処理	営業	購買・ 外注	販売・ サービ ス	建設・ 製造	物流・ 運輸	その他
1525	117	64	182	452	96	362	29	97	90	34	2
100	7.7	4.2	11.9	29.6	6.3	23.7	1.9	6.4	5.9	2.2	0.1

あなたのキャリアの中での主たる業務(回答は1つ)

n %	人事・ 総務・ 広報	経理・ 財務	企画・ 調査	研究・ 開発・ 設計	情報 処理	営業	購買・ 外注	販売・ サービ ス	建設・ 製造	物流・ 運輸	その他
1525	99	69	147	484	96	382	26	100	88	32	2
100	6.5	4.5	9.6	31.7	6.3	25.0	1.7	6.6	5.8	2.1	0.1

Q9 勤務先でのあなたの仕事や役割の位置づけ(コースなど)は、次の中のどれにあたりますか。(回答は1つ)

n %	基幹的で幹部候補生の仕事・コース(いわゆる「総合職」など)	定型的・補助的な業務を担当する仕事・コース(いわゆる「一般職」など)	上記2つの中間の仕事・コース	いずれにもあてはまらない
1525	1,122	165	120	118
100	73.6	10.8	7.9	7.7

Q10 昨年のあなたの年間の税込み給与総額(賞与や残業代を含む)はどのくらいですか。(回答は1つ)

n %	300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～600万円未満	600～700万円未満	700～800万円未満	800～900万円未満	900～1000万円未満	1000～1200万円未満	1200万円以上	わからない・答えたくない
1525	21	54	164	205	236	216	180	133	130	76	110
100	1.4	3.5	10.8	13.4	15.5	14.2	11.8	8.7	8.5	5.0	7.2

Q11 勤務先では、事業所内での配属職場の異動や事業所間の異動を定期的に行う、いわゆる定期異動がありますか。(回答は1つ)

n %	定期異動のみがある	定期異動と必要に応じた異動の両方がある	定期異動はなく、必要に応じた異動のみがある	わからない
1525	83	783	616	43
100	5.4	51.3	40.4	2.8

【異動があるとお答えの方にうかがいます。】

Q11_1 異動と異動の間の標準的な在任期間がありますか。(回答は1つ)

n %	標準的な在任期間がある	在任期間はそれぞれ個別に異なるので一概にいえません	わからない
1482	180	1,187	115
100	12.1	80.1	7.8

Q11_2 標準的な在任期間はだいたい何年くらいですか。

※1年未満の場合、1年とお答えください。

(回答は半角数字で入力)

n %	1年	2年	3年	4年	5年	6～10年	11年以上	平均値	中央値
180	5	15	88	19	37	16	0	4.0	3
100	2.8	8.3	48.9	10.6	20.6	8.9	0.0		

Q11_3 勤務先の企業が、異動を実施する理由についてどのようにお考えですか。主なものを3つまでお答えください。(回答は3つまで)

n %	事業活動や 業務量の変 化に対応す るため	組織運営の 必要性から	組織活性化 のため	社員のマン ネリ化の防 止のため	異動先で役 職に就かせ るため	社員の経験 の幅の拡大 など人材育 成のため	不正防止の ため	その他 具体的に:
1482	825	707	646	317	194	620	147	12
100	55.7	47.7	43.6	21.4	13.1	41.8	9.9	0.8

Q12 大卒(大学院)の新卒で入社した社員が課長クラスに昇進する際の標準的な昇進年齢はどれくらいですか。(回答は1つ)

n %	20代後半	30代前半	30代後半	40代前半	40代後半	50代以降	個人差が大 きくなんとも いえない	わからない
1525	8	74	421	573	152	10	190	97
100	0.5	4.9	27.6	37.6	10.0	0.7	12.5	6.4

Q13 勤務先では、大卒(大学院)の新卒で入社した社員が課長クラスに昇進するためには、次のような経験があることが必要だと考えられていますか。(回答はいくつでも)

n %	部門間の 異動	複数の業務 の経験	国内での転 居転勤を 伴う異動	海外赴任の 経験	子会社等へ の出向経験	上記の中に 必要な経験 はない	わからない
1525	493	601	238	75	31	460	268
100	32.3	39.4	15.6	4.9	2.0	30.2	17.6

【ここからは、勤務先の「転居転勤を伴う異動」についてうかがいます。以下では、転居転勤を伴う異動を「転勤」と記すことにします。】

Q14 勤務先で、転勤に関して導入している制度や施策がありますか。(回答はいくつでも)

n %	転勤をする社員区分から転勤をしない社員区分に転換できる制度	転勤の希望等に関する自己申告等の制度	社内公募制度や社内FA制度など社員自ら手を挙げて異動する制度	特定の事由がある場合に転勤をしない期間(転勤免除期間など)がある	転勤はするが個人の希望する本拠地を決める制度(そのような雇用区分がある場合を含む)	転勤はするがその範囲は一定のエリア内に限定する制度(そのような雇用区分がある場合を含む)	転勤をしない区分の社員でも本人の希望により転勤を実施する制度
1525	404	668	515	163	129	227	85
100	26.5	43.8	33.8	10.7	8.5	14.9	5.6

配偶者の転勤等に帯同して赴任させる制度	配偶者の転勤等に帯同する際に休職できる制度	一定年齢以上になると転勤を免除する制度	一定年齢以上になると希望地を選択できる制度	その他の制度 具体的に:	特になし
179	96	22	35	1	482
11.7	6.3	1.4	2.3	0.1	31.6

Q15 勤務先では、転勤の決定にあたって社員の希望や事情についてどの程度、配慮されていますか。(回答は1つ)

n %	本人の同意が得られない限り転勤させない	本人の希望や事情を優先して決める	本人の希望や事情を聞くが会社の事情を優先して決める	その他 具体的に:
1525	149	275	1,079	22
100	9.8	18.0	70.8	1.4

Q16 社員が個人の事情で転勤を回避した場合、その後の昇進にマイナスの影響がありますか。(回答は1つ)

n %	昇進できなくなる	昇進しにくくなる	影響はない	わからない	そのようなケースはない
1525	117	455	157	751	45
100	7.7	29.8	10.3	49.2	3.0

Q17 勤務先に就職してから現在までに、事業所内での異なる職場への異動や事業所間の異動の経験はありますか。まず、本配属以降についてお答えください。

※以下「異動」とは、配属先や所属の変更、出向を指すこととし、兼務を伴う場合も異動に含めます。なお、採用時の初任研修や仮配属などは含まず、本配属以降についてお答えください。また、組織改編等に伴う部署の名称変更で実質的な業務内容が変わらない場合は異動から除外してください。

n %	ある	ない
1525	1,139	386
100	74.7	25.3

【事業所内での異なる職場への異動や事業所間の異動の経験がある方にうかがいます。】

* Q17_1 勤務先に就職してから現在までに経験した事業所内での異なる職場への異動や事業所間の異動の回数をお答えください。たとえば3つの部門を経験している場合には、異動回数は「2回」とお答えください。(回答は半角数字で入力)

n %	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回 以上	平均 値	中央 値
1139	216	254	217	117	129	61	48	28	18	30	21	3.6	3
100	19.0	22.3	19.1	10.3	11.3	5.4	4.2	2.5	1.6	2.6	1.8		

【事業所内での異なる職場への異動や事業所間の異動の経験がある方にうかがいます。】

Q18 経験した異動のうち、転勤(同一国内での転勤、国を越えての転勤)がありましたか。(回答はいつでも)

n %	同一国内での転勤経験が ある	国を越えた転勤経験が ある	転勤の経験はない
1139	921	79	156
100	80.9	6.9	13.7

【転勤の経験がある方にうかがいます。】

* Q18_1 転勤の回数をお答えください。なお、本拠地から赴任先へ行き、また戻る場合にはそれぞれ回数をカウントすることとし、「2回」としてください。(回答は半角数字で入力)

	n %	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	平均 値	中央 値
同一国内での 転勤*回	921 100	249 27.0	228 24.8	152 16.5	82 8.9	77 8.4	41 4.5	26 2.8	21 2.3	10 1.1	18 2.0	17 1.8	3.2	2
国を越えた 転勤*回	79 100	0 0.0	67 84.8	1 1.3	9 11.4	1 1.3	1 1.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2.3	2
合計*回	983 100	244 24.8	278 28.3	153 15.6	89 9.1	81 8.2	42 4.3	28 2.8	22 2.2	10 1.0	19 1.9	17 1.7	3.2	2

【事業所内での異なる職場への異動や事業所間の異動の経験がある方にうかがいます。】

Q19 あなたが経験した異動は次のどれにあたりますか。該当する異動の回数、そのうち転勤の回数をお答えください。経験していないものについては0回とお答えください。(回答は半角数字で入力)

* Q19-1 異動の回数

	n %	0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回
同一事業所内で他部門への異動*回	1139 100	808 70.9	147 12.9	85 7.5	51 4.5	22 1.9	11 1.0	5 0.4
同一の国内の別の事業所への異動(出向は含まない)*回	1139 100	217 19.1	292 25.6	226 19.8	140 12.3	74 6.5	66 5.8	42 3.7
国内の関連会社等への出向*回	1139 100	925 81.2	163 14.3	41 3.6	8 0.7	2 0.2	0 0.0	0 0.0
国内の出向先から戻る異動*回	1139 100	1,016 89.2	107 9.4	14 1.2	1 0.1	1 0.1	0 0.0	0 0.0
国内から海外への異動(出向や出向先から戻る場合を含む)*回	79 100	0 0.0	68 86.1	10 12.7	1 1.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
海外から国内への異動(出向や出向先から戻る場合を含む)*回	79 100	0 0.0	68 86.1	10 12.7	1 1.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他*回	1139 100	1,107 97.2	19 1.7	6 0.5	4 0.4	0 0.0	1 0.1	0 0.0
合計*回	1139 100	0 0.0	216 19.0	254 22.3	217 19.1	117 10.3	129 11.3	61 5.4

	n %	7回	8回	9回	10回	11回以上	平均値	中央値
同一事業所内で他部門への異動*回	1139 100	7 0.6	2 0.2	0 0.0	0 0.0	1 0.1	0.6	0
同一の国内の別の事業所への異動(出向は含まない)*回	1139 100	26 2.3	23 2.0	12 1.1	11 1.0	10 0.9	2.4	2
国内の関連会社等への出向*回	1139 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0.2	0
国内の出向先から戻る異動*回	1139 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0.1	0
国内から海外への異動(出向や出向先から戻る場合を含む)*回	79 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1.2	1
海外から国内への異動(出向や出向先から戻る場合を含む)*回	79 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1.2	1
その他*回	1139 100	1 0.1	0 0.0	1 0.1	0 0.0	0 0.0	0.1	0
合計*回	1139 100	48 4.2	28 2.5	18 1.6	30 2.6	21 1.8	3.6	3

* Q19-2 異動のうち、転勤の回数

	n %	0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回
同一の国内の別の事業所への異動(出向は含まない)*回	983 100	126 12.8	259 26.3	214 21.8	139 14.1	66 6.7	62 6.3	40 4.1
国内の関連会社等への出向*回	983 100	818 83.2	126 12.8	32 3.3	5 0.5	2 0.2	0 0.0	0 0.0
国内の出向先から戻る異動*回	983 100	891 90.6	79 8.0	12 1.2	0 0.0	1 0.1	0 0.0	0 0.0
国内から海外への異動(出向や出向先から戻る場合を含む)*回	79 100	0 0.0	68 86.1	10 12.7	1 1.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
海外から国内への異動(出向や出向先から戻る場合を含む)*回	79 100	0 0.0	68 86.1	10 12.7	1 1.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他*回	983 100	956 97.3	17 1.7	4 0.4	4 0.4	0 0.0	1 0.1	0 0.0
合計*回	983 100	0 0.0	244 24.8	278 28.3	153 15.6	89 9.1	81 8.2	42 4.3

	n %	7回	8回	9回	10回	11回	不明
同一の国内の別の事業所への異動(出向は含まない)*回	983 100	25 2.5	23 2.3	10 1.0	10 1.0	9 0.9	0 0.0
国内の関連会社等への出向*回	983 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
国内の出向先から戻る異動*回	983 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
国内から海外への異動(出向や出向先から戻る場合を含む)*回	79 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
海外から国内への異動(出向や出向先から戻る場合を含む)*回	79 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他*回	983 100	0 0.0	0 0.0	1 0.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
合計*回	983 100	28 2.8	22 2.2	10 1.0	19 1.9	17 1.7	0 0.0

Q20 これまでに経験した異動において、異動時に昇進・昇格がありましたか。「異動全体」の回数をお答えください。また、「転勤」の経験がある方は、その回数もお答えください。(回答は半角数字で入力)

* Q20-1 異動全体で

	n %	0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回
役職が上がった異動の回数*回	1139 100	808 70.9	188 16.5	96 8.4	27 2.4	7 0.6	11 1.0	1 0.1
同じ役職で昇格した異動の回数*回	1139 100	903 79.3	97 8.5	72 6.3	32 2.8	17 1.5	7 0.6	5 0.4
昇進も昇格もなかった異動の回数*回	1139 100	187 16.4	222 19.5	244 21.4	170 14.9	93 8.2	95 8.3	42 3.7
合計*回	1139 100	0 0.0	216 19.0	254 22.3	217 19.1	117 10.3	129 11.3	61 5.4

	n %	7回	8回	9回	10回	11回 以上	平均値	中央値
役職が上がった異動の回数*回	1139 100	0 0.0	1 0.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0.5	0
同じ役職で昇格した異動の回数*回	1139 100	1 0.1	3 0.3	0 0.0	1 0.1	1 0.1	0.5	0
昇進も昇格もなかった異動の回数*回	1139 100	32 2.8	19 1.7	13 1.1	14 1.2	8 0.7	2.7	2
合計*回	1139 100	48 4.2	28 2.5	18 1.6	30 2.6	21 1.8	3.6	3

* Q20-2 転勤で

	n %	0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回
役職が上がった異動の回数*回	983	700	165	79	23	6	9	1
	100	71.2	16.8	8.0	2.3	0.6	0.9	0.1
同じ役職で昇格した異動の回数*回	983	794	87	56	25	10	6	2
	100	80.8	8.9	5.7	2.5	1.0	0.6	0.2
昇進も昇格もなかった異動の回数*回	983	179	237	230	129	71	53	29
	100	18.2	24.1	23.4	13.1	7.2	5.4	3.0
合計*回	983	0	244	278	153	89	81	42
	100	0.0	24.8	28.3	15.6	9.1	8.2	4.3

	n %	7回	8回	9回	10回	11回 以上	平均値	中央値
役職が上がった異動の回数*回	983	0	0	0	0	0	0.5	0
	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
同じ役職で昇格した異動の回数*回	983	1	2	0	0	0	0.4	0
	100	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0		
昇進も昇格もなかった異動の回数*回	983	17	13	9	11	5	2.3	2
	100	1.7	1.3	0.9	1.1	0.5		
合計*回	983	28	22	10	19	17	3.2	2
	100	2.8	2.2	1.0	1.9	1.7		

Q21 異動の主たる理由は次のどれにあたるかと考えですか。「異動全体」の回数をお答えください。
また、「転職」の経験がある方は、その回数もお答えください。(回答は半角数字で入力)

* Q21-1 異動全体で

	n %	0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回
仕事の経験を広げるというキャリア形成上の理由からの異動の回数*回	1139 100	626 55.0	193 16.9	142 12.5	69 6.1	33 2.9	35 3.1	13 1.1
異動によりポストに就くため異動の回数*回	1139 100	1,013 88.9	65 5.7	38 3.3	14 1.2	3 0.3	2 0.2	2 0.2
組織運営上の理由による異動の回数*回	1139 100	506 44.4	199 17.5	147 12.9	85 7.5	63 5.5	63 5.5	22 1.9
その他の理由による異動の回数*回	1139 100	878 77.1	116 10.2	56 4.9	33 2.9	18 1.6	13 1.1	3 0.3
合計*回	1139 100	0 0.0	216 19.0	254 22.3	217 19.1	117 10.3	129 11.3	61 5.4

	n %	7回	8回	9回	10回	11回 以上	平均値	中央値
仕事の経験を広げるというキャリア形成上の理由からの異動の回数*回	1139 100	11 1.0	5 0.4	5 0.4	4 0.4	3 0.3	1.1	0
異動によりポストに就くため異動の回数*回	1139 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.1	1 0.1	0.2	0
組織運営上の理由による異動の回数*回	1139 100	16 1.4	10 0.9	10 0.9	14 1.2	4 0.4	1.7	1
その他の理由による異動の回数*回	1139 100	9 0.8	5 0.4	3 0.3	3 0.3	2 0.2	0.6	0
合計*回	1139 100	48 4.2	28 2.5	18 1.6	30 2.6	21 1.8	3.6	3

* Q21-2 転勤で

	n %	0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回
		仕事の経験を広げるといふキャリア形成上の理由からの異動の回数*回	983 100	551 56.1	193 19.6	119 12.1	45 4.6	20 2.0
異動によりポストに就くため異動の回数*回	983 100	879 89.4	54 5.5	31 3.2	12 1.2	3 0.3	2 0.2	1 0.1
組織運営上の理由による異動の回数*回	983 100	482 49.0	177 18.0	131 13.3	60 6.1	41 4.2	39 4.0	16 1.6
その他の理由による異動の回数*回	983 100	750 76.3	112 11.4	51 5.2	28 2.8	15 1.5	8 0.8	3 0.3
合計*回	983 100	0 0.0	244 24.8	278 28.3	153 15.6	89 9.1	81 8.2	42 4.3

	n %	7回	8回	9回	10回	11回以上	平均値	中央値
		仕事の経験を広げるといふキャリア形成上の理由からの異動の回数*回	983 100	6 0.6	3 0.3	4 0.4	2 0.2	2 0.2
異動によりポストに就くため異動の回数*回	983 100	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.1	0 0.0	0.2	0
組織運営上の理由による異動の回数*回	983 100	10 1.0	8 0.8	7 0.7	9 0.9	3 0.3	1.4	1
その他の理由による異動の回数*回	983 100	7 0.7	5 0.5	1 0.1	1 0.1	2 0.2	0.6	0
合計*回	983 100	28 2.8	22 2.2	10 1.0	19 1.9	17 1.7	3.2	2

Q22 それぞれの異動は、あなたの希望に沿ったものでしたか。「異動全体」の回数をお答えください。また、「転勤」の経験がある方は、その回数もお答えください。(回答は半角数字で入力)

* Q22-1 異動全体で

	n %	0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回
希望どおりだった異動の回数 *回	1139 100	791 69.4	185 16.2	75 6.6	39 3.4	16 1.4	21 1.8	4 0.4
ある程度は希望どおりだった 異動の回数*回	1139 100	869 76.3	142 12.5	68 6.0	24 2.1	11 1.0	9 0.8	7 0.6
どちらともいえない異動の 回数*回	1139 100	467 41.0	217 19.1	166 14.6	94 8.3	70 6.1	51 4.5	18 1.6
異動したくなかった異動の 回数*回	1139 100	741 65.1	201 17.6	78 6.8	46 4.0	21 1.8	25 2.2	8 0.7
合計*回	1139 100	0 0.0	216 19.0	254 22.3	217 19.1	117 10.3	129 11.3	61 5.4

	n %	7回	8回	9回	10回	11回 以上	平均値	中央値
希望どおりだった異動の回数 *回	1139 100	4 0.4	4 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0.6	0
ある程度は希望どおりだった 異動の回数*回	1139 100	4 0.4	1 0.1	0 0.0	2 0.2	2 0.2	0.5	0
どちらともいえない異動の 回数*回	1139 100	19 1.7	11 1.0	10 0.9	8 0.7	8 0.7	1.7	1
異動したくなかった異動の 回数*回	1139 100	9 0.8	2 0.2	3 0.3	4 0.4	1 0.1	0.8	0
合計*回	1139 100	48 4.2	28 2.5	18 1.6	30 2.6	21 1.8	3.6	3

* Q22-2 転勤で

	n %	0回	1回	2回	3回	4回	5回	6回
希望どおりだった異動の回数 *回	983 100	699 71.1	169 17.2	62 6.3	24 2.4	10 1.0	13 1.3	2 0.2
ある程度は希望どおりだった 異動の回数*回	983 100	780 79.3	107 10.9	54 5.5	18 1.8	5 0.5	7 0.7	4 0.4
どちらともいえない異動の 回数*回	983 100	442 45.0	198 20.1	141 14.3	72 7.3	44 4.5	35 3.6	13 1.3
異動したくなかった異動の 回数*回	983 100	638 64.9	185 18.8	67 6.8	40 4.1	15 1.5	16 1.6	8 0.8
合計*回	983 100	0 0.0	244 24.8	278 28.3	153 15.6	89 9.1	81 8.2	42 4.3

	n %	7回	8回	9回	10回	11回 以上	平均値	中央値
希望どおりだった異動の回数 *回	983 100	2 0.2	2 0.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0.5	0
ある程度は希望どおりだった 異動の回数*回	983 100	4 0.4	1 0.1	0 0.0	2 0.2	1 0.1	0.4	0
どちらともいえない異動の 回数*回	983 100	11 1.1	7 0.7	8 0.8	6 0.6	6 0.6	1.5	1
異動したくなかった異動の 回数*回	983 100	8 0.8	2 0.2	2 0.2	1 0.1	1 0.1	0.8	0
合計*回	983 100	28 2.8	22 2.2	10 1.0	19 1.9	17 1.7	3.2	2

【国内での転勤経験がある方にうかがいます。】

Q23_1 国内での転勤をする際に、事前に正式な転勤の内示があったのはいつごろですか。複数回の転勤経験がある方は、最も多かったものをお教えてください。(回答は1つ)

n %	1か月以上前 が多かった	3週間程度前 が多かった	2週間程度前 が多かった	1週間程度前 が多かった	個別ケースに より異なる
921	286	177	202	164	92
100	31.1	19.2	21.9	17.8	10.0

【海外への転勤経験がある方にうかがいます。】

Q23_2 海外への転勤をする際に、事前に正式な転勤の内示があったのはいつごろですか。複数回の転勤経験がある方は、最も多かったものをお教えてください。(回答は1つ)

n %	3か月以上前が 多かった	2~3か月程度 前が多かった	1~2か月間程 度前が多かった	2~3週間程度 前が多かった	個別ケースに より異なる
79	32	21	17	8	1
100	40.5	26.6	21.5	10.1	1.3

【転勤経験がある方にうかがいます。】

Q24 転勤にあたって赴任期間は明示されていましたか。複数回の転勤経験がある方は、最も多かったものをお教えてください。(回答は1つ)

n %	明示されていた	目安として 示されていた	明示も目安もな かったが慣例で 予想ができた	明示も目安もな く予想もできな かった	個別ケースによ り異なる
921	124	143	152	417	85
100	13.5	15.5	16.5	45.3	9.2
79	27	32	10	10	0
100	34.2	40.5	12.7	12.7	0.0

【転勤が明示されていた、または目安として示されていた方にうかがいます。】

* Q24_1 明示された赴任期間は何年程度ですか。複数回の転勤経験がある方は、何年程度の期間であることが多かったかをお教えてください。

※1年未満の場合、1年とお答えください。(回答は半角数字で入力)

n %	1年	2年	3年	4年	5年	6~10 年	11年 以上	平均値	中央値
267	38	54	99	17	42	17	0	3.3	3
*年程度 100	14.2	20.2	37.1	6.4	15.7	6.4	0.0		
59	14	14	17	3	8	3	0	2.8	3
*年程度 100	23.7	23.7	28.8	5.1	13.6	5.1	0.0		

Q25 単身赴任の経験がありますか。(回答はいくつでも)

n %	ある	転勤のときに配偶者 もしくは子どもはいたが 単身赴任はしなかった	転勤のときに配偶者や 子どもはいなかった
983	256	303	456
100	26.0	30.8	46.4

【異動経験がある方にうかがいます。】

Q26 あなたは異動を通じてどのような経験を得ることができましたか。それぞれについて、当てはまるものをお選びください。(回答は1つ)

	n %	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかと いえば そう思わない	そう思わない	どちらとも いえない わからない
仕事上の能力の 幅を広げること	1139 100	253 22.2	589 51.7	172 15.1	90 7.9	35 3.1
仕事上の能力を 深めること	1139 100	218 19.1	607 53.3	196 17.2	83 7.3	35 3.1
変化への適応力 の獲得	1139 100	262 23.0	589 51.7	187 16.4	68 6.0	33 2.9
いろいろな人材と 仕事をする能力 の獲得	1139 100	295 25.9	602 52.9	154 13.5	56 4.9	32 2.8
幅広い人脈の構 築	1139 100	286 25.1	561 49.3	181 15.9	71 6.2	40 3.5
会社全体の業務 を理解すること	1139 100	230 20.2	547 48.0	215 18.9	104 9.1	43 3.8

Q27 異動経験をトータルにみて、あなたご自身の仕事上の能力開発にプラスになったとお考えですか。(回答は1つ)

n %	大いにプラス になった	ややプラスに なった	影響は なかった	マイナスに なった	わからない
1139	341	548	161	48	41
100	29.9	48.1	14.1	4.2	3.6

【転勤経験がある方にうかがいます。】

Q28 転勤の経験は、転勤以外の異動の経験に比べて、能力開発によりプラスになったとお考えですか。
(回答は1つ)

n %	転勤経験の方が 能力開発面で プラスになった	転勤経験と他の異 動では能力開発面 でのプラスの程度 に違いはない	転勤経験でない 他の異動の方が 能力開発面で プラスになった	わからない
983	378	344	51	210
100	38.5	35.0	5.2	21.4

Q29 異動の経験のなかで、転勤を伴わないと得ることができなかった経験がありますか。それぞれについて、当てはまるものをお選びください。(回答は1つ)

	n %	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	どちらとも いえない わからない
仕事上の能力の 幅を広げること	983 100	134 13.6	428 43.5	229 23.3	139 14.1	53 5.4
仕事上の能力を 深めること	983 100	123 12.5	405 41.2	253 25.7	142 14.4	60 6.1
変化への適応力 の獲得	983 100	205 20.9	422 42.9	194 19.7	115 11.7	47 4.8
いろいろな人材と 仕事をする能力 の獲得	983 100	203 20.7	443 45.1	190 19.3	96 9.8	51 5.2
幅広い人脈の 構築	983 100	214 21.8	432 43.9	167 17.0	113 11.5	57 5.8
会社全体の業務 を理解すること	983 100	155 15.8	412 41.9	238 24.2	116 11.8	62 6.3

【転勤経験がある方にうかがいます。】

Q30 転勤に伴って、プライベートな生活面で以下の点で支障があったことがありますか。(回答はいくつでも)

n %	配偶者・パートナーの仕事	子どもの教育	家族との関係	結婚ができなくなる	地域とのつながり	家を持つこと
983	171	176	179	61	108	111
100	17.4	17.9	18.2	6.2	11.0	11.3

持家に住めなくなる	家計への負担	自分自身の自己啓発	その他 具体的に：	特になし
124	236	44	14	409
12.6	24.0	4.5	1.4	41.6

【ここからは、すべての方にうかがいます。】

Q31 勤務先の異動に関する人事施策に関して、あなたの意見や要望として当てはまるものがありますか。(回答はいくつでも)

n %	専門性を深める視点から異動を行う	異動の回数を減らす	転勤の対象とする社員を減らす	転勤する距離的な範囲を狭くする	転勤は社員の同意を条件にする	転勤に社員の希望(時期、場所、期間など)を反映させる
1525	394	145	72	142	330	460
100	25.8	9.5	4.7	9.3	21.6	30.2

子育てや介護などの個人的な事情がある社員には、一時的に転勤を免除する	転勤はあっても最終の勤務地を社員が選択できるようにする	転勤はあっても一年齢以上の社員には転勤を免除する	転勤を受け入れた社員に対して、特別な昇給や手当など提供する	その他	特になし
398	279	124	324	10	420
26.1	18.3	8.1	21.2	0.7	27.5

Q32 あなたは、現在の勤務先で、今後転勤の可能性がありますか。(回答は1つ)

n %	必ず転勤する	転勤の可能性は高い	可能性は半々である	転勤の可能性は低い	転勤することはない	わからない
1525	322	355	402	212	31	203
100	21.1	23.3	26.4	13.9	2.0	13.3

Q33 あなたご自身の転職について、入社時はどのようにお考えでしたか。また今後のことをどのようにお考えですか。(回答は1つ)

	n %	積極的に 転職をしたい	積極的では ないが転職を 受け入れる	できれば転職 したくない	絶対に転職 はしたくない	特に考えて いない
入社時	1525 100	170 11.1	603 39.5	354 23.2	111 7.3	287 18.8
今後のこと	1525 100	107 7.0	521 34.2	524 34.4	151 9.9	222 14.6

Q33_1 今後、積極的に転職をしたい、積極的ではないが転職を受け入れるとお答えの方にうかがいます。転職したいと考える理由はなんですか。(回答はいくつでも)

n %	自分自身の 仕事上の能力 開発のため	魅力的な 仕事ができる から	自分のやり たい仕事のため には転職が必要 だから	昇進するた めに転職が 必要と考える から	行きたい勤 務地がある から	その他	特に理由は ない
628 100	352 56.1	172 27.4	129 20.5	131 20.9	105 16.7	14 2.2	87 13.9

Q34 転職を受け入れるために必要な条件がありますか。(回答はいくつでも)

n %	転職を受け 入れると賃金 水準が上がる	転職期間 中に手当が 支給される	転職と同 時に昇格 や昇進 する	将来の昇 進に当た って転職 経験が有 利になる	転職時に 赴任期間 を明示して くれる	家族の仕 事や学校 などの支 援をして くれる	その他	特にない
1525 100	459 30.1	528 34.6	360 23.6	332 21.8	342 22.4	320 21.0	10 0.7	529 34.7

Q35_1 賃金水準: 転職を受け入れる社員に比べて転職を受け入れない社員の賃金水準(回答は1つ) 転職を受け入れる社員と受け入れない社員との間の処遇を変えることについて、どのようにお考えですか。賃金、昇進可能性、雇用保障の3つについて、許容できる処遇の水準をお答えください。

n %	同じ水準に すべき	1割程度低い 水準でもやむを 得ない	2割程度低い 水準でもやむを 得ない	3割程度以上 低い水準でも やむを得ない	その他
1525 100	580 38.0	488 32.0	256 16.8	189 12.4	12 0.8

Q35_2 昇進・昇格: 転職を受け入れる社員に比べて転職を受け入れない社員の昇進・昇格の上限(回答は1つ)

n %	同じ水準に すべき	低い水準でも やむを得ない	その他
1525 100	669 43.9	846 55.5	10 0.7

Q35.3 雇用保障:通勤圏内の事業所が閉鎖となった場合の転勤を受け入れない社員の雇用保障(回答は1つ)

n %	転勤を受け入れる社員と同様にすべきである	転勤を受け入れる社員と比べて雇用保障の程度が低くてもやむを得ない	その他
1525	860	658	7
100	56.4	43.1	0.5

Q36 あなたがQ35-1~3で答えた許容できる処遇の水準で、転勤がない働き方で働けるとしたら、あなたは転勤がない働き方を希望しますか。(回答は1つ)

n %	希望する	希望しない
1525	796	729
100	52.2	47.8

【ここからは仕事に対する意識についてうかがいます。】

Q37 以下にあげる項目についてどの程度満足していますか。(回答は1つ)

	n %	満足していない	あまり満足していない	どちらともいえない	やや満足している	満足している	満足していない+あまり満足していない	満足している+やや満足している
仕事の内容	1525	119	334	510	444	118	453	562
	100	7.8	21.9	33.4	29.1	7.7	29.7	36.8
昇進	1525	184	352	626	291	72	536	363
	100	12.1	23.1	41.0	19.1	4.7	35.2	23.8
仕事を通じた自身の成長	1525	96	276	600	448	105	372	553
	100	6.3	18.1	39.3	29.4	6.9	24.4	36.3
これまでの仕事経験	1525	55	198	512	624	136	253	760
	100	3.6	13.0	33.6	40.9	8.9	16.6	49.8
仕事全般	1525	80	232	573	542	98	312	640
	100	5.2	15.2	37.6	35.5	6.4	20.4	41.9

Q38 以下にあげる項目についてあなたはどの程度あてはまりますか。(回答は1つ)

	n %	あてはま らない	あまりあては まらない	どちらとも いえない	やや あてはまる	あてはまる
社内いろいろな 人脈があること	1525 100	72 4.7	242 15.9	498 32.7	566 37.1	147 9.6
社外いろいろな 人脈があること	1525 100	142 9.3	354 23.2	531 34.8	398 26.1	100 6.6
多様な人と一緒に 仕事ができること	1525 100	64 4.2	213 14.0	572 37.5	552 36.2	124 8.1
新しい環境に柔軟 に適應できること	1525 100	53 3.5	193 12.7	592 38.8	561 36.8	126 8.3
困難なことに挑戦 すること	1525 100	50 3.3	192 12.6	607 39.8	552 36.2	124 8.1

Q39 現在の勤務先で仕事を続けることについてどのようにお考えですか。(回答は1つ)

n %	ぜひ勤続 したい	できれば 勤続したい	条件による	できれば勤続 したくない	すぐにも 辞めたい
1525	225	477	650	130	43
100	14.8	31.3	42.6	8.5	2.8

Q40 あなたは今後どの役職まで昇進したいとお考えですか。(回答は1つ)

n %	役員クラス 以上まで	部長クラス まで	課長クラス まで	主任・係長 クラスまで	役職には就き たくない
1525	277	452	382	148	266
100	18.2	29.6	25.0	9.7	17.4

Q41 あなたは将来どのようなキャリアを築いていこうと考えていますか。最も当てはまるものを1つお答えください。(回答は1つ)

n %	今の会社でい ろいろな業務 を経験し、 管理職として 能力を発揮 したい	いずれは他社 に転職し、 管理職として 能力を発揮 したい	今の会社で自 分の専門能 力を活かし、 専門職として 活躍したい	いずれは他社 に転職し、 専門職として 活躍したい	今の会社で地 位や仕事にと らわれずに 定年まで勤め たい	勤め先や地 位、仕事に とらわれずに 定年まで勤め たい	いずれは独立 を考えている	仕事をどこか で辞めるつも りである	特に希望は ない
1525	532	81	256	55	176	84	25	103	213
100	34.9	5.3	16.8	3.6	11.5	5.5	1.6	6.8	14.0

【最後に、あなたご自身についてうかがいます。】

Q42 あなたの性別をお答えください。(回答は1つ)

n %	男性	女性
1525	1,365	160
100	89.5	10.5

Q43_1 あなたの生年月をお答えください(生まれた年(西暦))。(回答は1つ)

n %	1985 年	1984 年	1983 年	1982 年	1981 年	1980 年	1979 年	1978 年	1977 年	1976 年	1975 年
1525	34	47	41	53	55	41	64	57	60	62	88
100	2.2	3.1	2.7	3.5	3.6	2.7	4.2	3.7	3.9	4.1	5.8

	1974 年	1973 年	1972 年	1971 年	1970 年	1969 年	1968 年	1967 年	1966 年	1965 年
	74	79	94	91	106	108	125	122	110	14
	4.9	5.2	6.2	6.0	7.0	7.1	8.2	8.0	7.2	0.9

Q43_2 あなたの生年月をお答えください(生まれた月)。(回答は1つ)

n %	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1525	109	113	124	134	140	103	139	148	142	133	122	118
100	7.1	7.4	8.1	8.8	9.2	6.8	9.1	9.7	9.3	8.7	8.0	7.7

Q44 現在の居住地をお答えください。(回答は1つ)

n %	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県
1525	31	3	7	14	8	3	9	32	15	17
100	2.0	0.2	0.5	0.9	0.5	0.2	0.6	2.1	1.0	1.1

埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県
99	112	330	192	13	14	7	2	4	14
6.5	7.3	21.6	12.6	0.9	0.9	0.5	0.1	0.3	0.9

岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
13	39	112	15	24	30	111	98	14	6
0.9	2.6	7.3	1.0	1.6	2.0	7.3	6.4	0.9	0.4

鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県
1	1	14	20	11	2	11	8	6	31
0.1	0.1	0.9	1.3	0.7	0.1	0.7	0.5	0.4	2.0

佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
2	4	7	6	3	6	4
0.1	0.3	0.5	0.4	0.2	0.4	0.3

Q45 あなたにとっての本拠地はどこだとお考えですか。(回答は1つ)

n %	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県
1525	32	4	5	17	8	6	9	24	11	17
100	2.1	0.3	0.3	1.1	0.5	0.4	0.6	1.6	0.7	1.1

埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県
70	66	411	163	11	13	8	1	3	16
4.6	4.3	27.0	10.7	0.7	0.9	0.5	0.1	0.2	1.0

岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
13	35	106	14	17	32	141	87	15	7
0.9	2.3	7.0	0.9	1.1	2.1	9.2	5.7	1.0	0.5

鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県
2	1	15	22	11	3	8	9	2	37
0.1	0.1	1.0	1.4	0.7	0.2	0.5	0.6	0.1	2.4

佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	海外	特にない
3	3	8	7	3	6	4	3	16
0.2	0.2	0.5	0.5	0.2	0.4	0.3	0.2	1.0

Q45_1 あなたは本拠地を「〇〇」とお答えになりました。その場所を本拠地と考える理由をお答えください。
(回答はいくつでも)

n %	出身地 だから	本社がある から	本社ではな いが勤務地 があるから	家族がいる から	自宅がある から	その他 具体的に:	特に理由は ない
1509	767	352	168	594	649	15	45
100	50.8	23.3	11.1	39.4	43.0	1.0	3.0

Q46 現在の婚姻状況(事実婚を含む)をお答えください。(回答は1つ)

n %	結婚したことがない	現在結婚している (事実婚を含む)	離別・死別したことが あり、現在は結婚して いない
1525	381	1,105	39
100	25.0	72.5	2.6

Q46_1 現在結婚している方にうかがいます。現在配偶者と同居していますか。(回答は1つ)

n %	同居している	同居していない
1105	1,038	67
100	93.9	6.1

Q46_2 あなたの配偶者の就業状況をお答えください。(回答は1つ)

n %	正社員・職員の 仕事をしている	パートタイムなど 非正規の仕事をして いる	自営業、自由業	仕事をしていない
1105	338	309	12	446
100	30.6	28.0	1.1	40.4

Q46_3 配偶者が正社員・職員の仕事をしていると答えの方にかがいます。配偶者は転勤の可能性
がありますか。

n %	転勤の可能性 がある	転勤の可能性 はない	わからない
338	142	173	23
100	42.0	51.2	6.8

Q47 子どもの有無をお答えください。(回答は1つ)

n %	子どもがいる	子どもはいない
1525	878	647
100	57.6	42.4

【子どもがいる方にかがいます。】

* Q47_1 子どもの人数をお答えください。

n %	1人	2人	3人	4人以上	平均値	中央値
878	310	470	90	8	1.8	2
100	35.3	53.5	10.3	0.9		

Q47_2 一番下の子どもの年代として、当てはまるものを1つお答えください。

n %	未就学児	小学生	中学生	高校生	18歳以上
878	366	297	116	70	29
100	41.7	33.8	13.2	8.0	3.3

Q48 介護が必要なご家族はいらっしゃいますか。(回答はいくつでも)

n %	同居している中に、 介護が必要な家族がいる	同居はしていないが、 介護が必要な家族がいる	介護が必要な家族はいない
1525	17	127	1,382
100	1.1	8.3	90.6

Q49 あなたの現在の居住形態について、当てはまるものをお選びください。(回答は1つ)

n %	持ち家があり、 住んでいる	持ち家はあるが、 住んでいない	持ち家はない
1525	857	83	585
100	56.2	5.4	38.4

Ⅲ-参考 個人調査票

転勤の実態把握に関する調査

<現在のあなたのお仕事についてうかがいます。>

Q1 勤務先の本社・本店の所在地をお答えください。(回答は1つ)

1 北海道	13 東京都	25 滋賀県	37 香川県
2 青森県	14 神奈川県	26 京都府	38 愛媛県
3 岩手県	15 新潟県	27 大阪府	39 高知県
4 宮城県	16 富山県	28 兵庫県	40 福岡県
5 秋田県	17 石川県	29 奈良県	41 佐賀県
6 山形県	18 福井県	30 和歌山県	42 長崎県
7 福島県	19 山梨県	31 鳥取県	43 熊本県
8 茨城県	20 長野県	32 島根県	44 大分県
9 栃木県	21 岐阜県	33 岡山県	45 宮崎県
10 群馬県	22 静岡県	34 広島県	46 鹿児島県
11 埼玉県	23 愛知県	35 山口県	47 沖縄県
12 千葉県	24 三重県	36 徳島県	48 海外

Q2 勤務先の事業所数は、本社を含めていくつですか。(回答は1つ)

1 5か所未満	4 30～49か所
2 5～9か所	5 50～99か所
3 10～29か所	6 100か所以上

Q3 勤務先の本社以外の事業所の所在地について、当てはまるものを1つお答えください。

(回答は1つ)

- | |
|-------------------|
| 1 国内のみに事業所がある |
| 2 海外のみに事業所がある |
| 3 国内と海外の両方に事業所がある |

Q4 勤務先に労働組合はありますか。(回答は1つ)

- | |
|-----------------------|
| 1 労働組合があり、組合に加入している |
| 2 労働組合があるが、組合に加入していない |
| 3 労働組合はない |

Q5 勤務先に入社したのはいつですか。(回答は1つ)

1	2015年	6	2010年	11	2005年	16	2000年	21	1995年	26	1990年
2	2014年	7	2009年	12	2004年	17	1999年	22	1994年	27	1989年
3	2013年	8	2008年	13	2003年	18	1998年	23	1993年	28	1988年
4	2012年	9	2007年	14	2002年	19	1997年	24	1992年	29	1987年
5	2011年	10	2006年	15	2001年	20	1996年	25	1991年		以前

Q6 現在のあなたが担当している仕事(職種)は次の中のどれに近いですか。

※例えば、営業で管理職、専門・技術で管理職の場合は、「管理的な仕事」とお答えください。

(回答は1つ)

1	専門的な仕事(法務、調査研究など)	6	営業(外回り等)の仕事
2	技術的な仕事(SEや技術者など)	7	サービスの仕事
3	管理的な仕事(課長相当職以上の管理職)	8	製造や運輸など現場の仕事
4	事務の仕事	9	その他 具体的に:
5	店舗などでの販売の仕事		

Q7 現在のあなたの職位(役職)は、次の中のどれにあたりますか。(回答は1つ)

1	一般社員(役職なし)
2	主任・係長クラス
3	課長代理・課長補佐クラス
4	課長クラス
5	部長・次長クラス以上

Q8 以下の業務の中で、あなたがこれまで経験した業務をお答えください。また、現在の業務、あなたのキャリアの中での主たる業務について、それぞれ1つお答えください。ぴったり当てはまらない場合にはできるだけ近いものを選択してください。

	これまで経験した業務 (回答はいくつでも)	現在の担当業務 (回答は1つ)	あなたのキャリアの中 での主たる業務 (回答は1つ)
人事・総務・広報	1	1	1
経理・財務	2	2	2
企画・調査	3	3	3
研究・開発・設計	4	4	4
情報処理	5	5	5
営業	6	6	6
購買・外注	7	7	7
販売・サービス	8	8	8
建設・製造	9	9	9
物流・運輸	10	10	10
その他 具体的に：	11	11	11

Q9 勤務先でのあなたの仕事や役割の位置づけ（コースなど）は、次の中のどれにあたりますか。

（回答は1つ）

1 基幹的で幹部候補生の仕事・コース（いわゆる「総合職」など）
2 定型的・補助的な業務を担当する仕事・コース（いわゆる「一般職」など）
3 上記2つの中間の仕事・コース
4 いずれにもあてはまらない

Q10 昨年のあなたの年間の税込み給与総額（賞与や残業代を含む）はどのくらいですか。

（回答は1つ）

1 300万円未満	7 800～900万円未満
2 300～400万円未満	8 900～1000万円未満
3 400～500万円未満	9 1000～1200万円未満
4 500～600万円未満	10 1200万円以上
5 600～700万円未満	11 わからない・答えたくない
6 700～800万円未満	

<ここからは、勤務先の「異動の制度等」についてうかがいます。>

Q11 勤務先では、事業所内での配属職場の異動や事業所間の異動を定期的に行う、いわゆる定期異動がありますか。(回答は1つ)

- | |
|-------------------------|
| 1 定期異動のみがある |
| 2 定期異動と必要に応じた異動の両方がある |
| 3 定期異動はなく、必要に応じた異動のみがある |
| 4 わからない |

Q11_1 異動があるとお答えの方にはうかがいます。

異動と異動の間の標準的な在任期間がありますか。(回答は1つ)

- | |
|----------------------------|
| 1 標準的な在任期間がある |
| 2 在任期間はそれぞれ個別に異なるので一概にいけない |
| 3 わからない |

Q11_2 標準的な在任期間はだいたい何年くらいですか。

※1年未満の場合、1年とお答えください。(回答は半角数字で入力)

() 年

Q11_3 異動があるとお答えの方にはうかがいます。

勤務先の企業が、異動を実施する理由についてどのようにお考えですか。主なものを3つまでお答えください。(回答は3つまで)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 事業活動や業務量の変化に対応するため | 5 異動先で役職に就かせるため |
| 2 組織運営の必要性から | 6 社員の経験の幅の拡大など人材育成のため |
| 3 組織活性化のため | 7 不正防止のため |
| 4 社員のマナー化の防止のため | 8 その他 具体的に： |

Q12 大卒(大学院)の新卒で入社した社員が課長クラスに昇進する際の標準的な昇進年齢はどれくらいですか。(回答は1つ)

- | | |
|---------|-------------------|
| 1 20代後半 | 5 40代後半 |
| 2 30代前半 | 6 50代以降 |
| 3 30代後半 | 7 個人差が大きくなんともいけない |
| 4 40代前半 | 8 わからない |

Q13 勤務先では、大卒（大学院）の新卒で入社した社員が課長クラスに昇進するためには、次のような経験があることが必要だと考えられていますか。（回答はいくつでも）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 部門間の異動 | 5 子会社等への出向経験 |
| 2 複数の業務の経験 | 6 上記の中に必要な経験はない |
| 3 国内での転居転勤を伴う異動 | 7 わからない |
| 4 海外赴任の経験 | |

<ここからは、勤務先の「転居転勤を伴う異動」についてうかがいます。以下では、転居転勤を伴う異動を「転勤」と記すことにします。>

Q14 勤務先で、転勤に関して導入している制度や施策がありますか。（回答はいくつでも）

- | |
|--|
| 1 転勤をする社員区分から転勤をしない社員区分に転換できる制度 |
| 2 転勤の希望等に関する自己申告等の制度 |
| 3 社内公募制度や社内 FA 制度など社員自ら手を挙げて異動する制度 |
| 4 特定の事由がある場合に転勤をしない期間（転勤免除期間など）がある |
| 5 転勤はするが個人の希望する本拠地を決める制度（そのような雇用区分がある場合を含む） |
| 6 転勤はするがその範囲は一定のエリア内に限定する制度（そのような雇用区分がある場合を含む） |
| 7 転勤をしない区分の社員でも本人の希望により転勤を実施する制度 |
| 8 配偶者の転勤等に帯同して赴任させる制度 |
| 9 配偶者の転勤等に帯同する際に休職できる制度 |
| 10 一定年齢以上になると転勤を免除する制度 |
| 11 一定年齢以上になると希望地を選択できる制度 |
| 12 その他の制度 具体的に： |
| 13 特になし |

Q15 勤務先では、転勤の決定にあたって社員の希望や事情についてどの程度、配慮されていますか。（回答は1つ）

- | |
|-----------------------------|
| 1 本人の同意が得られない限り転勤させない |
| 2 本人の希望や事情を優先して決める |
| 3 本人の希望や事情を聞くが会社の事情を優先して決める |
| 4 その他 具体的に： |

Q16 社員が個人の事情で転勤を回避した場合、その後の昇進にマイナスの影響がありますか。

（回答は1つ）

- | | |
|------------|---------------|
| 1 昇進できなくなる | 4 わからない |
| 2 昇進しにくくなる | 5 そのようなケースはない |
| 3 影響はない | |

<ここからは、あなたご自身のこれまでの異動経験や異動に関するお考えについてうかがいます。>

Q17 勤務先に就職してから現在までに、事業所内での異なる職場への異動や事業所間の異動の経験はありますか。

※以下「異動」とは、配属先や所属の変更、出向を指すこととし、兼務を伴う場合も異動に含めます。なお、採用時の初任研修や仮配属などは含まず、本配属以降についてお答えください。また、組織改編等に伴う部署の名称変更で実質的な業務内容が変わらない場合は異動から除外してください。(回答は1つ)

1 ある
2 ない

Q17_1 事業所内での異なる職場への異動や事業所間の異動の経験がある方にうかがいます。

勤務先に就職してから現在までに経験した事業所内での異なる職場への異動や事業所間の異動の回数をお答えください。たとえば3つの部門を経験している場合には、異動回数は「2回」とお答えください。(回答は半角数字で入力)

() 回

Q18 事業所内での異なる職場への異動や事業所間の異動の経験がある方にうかがいます。

経験した異動のうち、転勤(同一国内での転勤、国を越えての転勤)がありましたか。

(回答はいくつでも)

1 同一国内での転勤経験がある
2 国を越えた転勤経験がある
3 転勤の経験はない

Q18_1 転勤の経験がある方にうかがいます。

転勤の回数をお答えください。なお、本拠地から赴任先へ行き、また戻る場合にはそれぞれ回数をカウントすることとし、「2回」としてください。(回答は半角数字で入力)

(1) 同一国内での転勤	() 回
(2) 国を越えた転勤	() 回
(3) 合計	() 回 ※自動計算で表示

Q19 事業所内での異なる職場への異動や事業所間の異動の経験がある方にうかがいます。

あなたが回答した異動回数は「**回 (Q17_1)」、同一国内での転勤の回数は「**回 (Q18_1(1))」、国を越えた転勤の回数は「**回 Q18_1(2)」です。

あなたが経験した異動は次のどれにあたりますか。該当する異動の回数、そのうち転勤の回数をお答えください。経験していないものについては0回とお答えください。

(回答は半角数字で入力)

	Q19_1 異動の回数	Q19_2 異動のうち、 転勤の回数
(1) 同一事業所内で他部門への異動	() 回	() 回
(2) 同一の国内の別の事業所への異動 (出向は含まない)	() 回	() 回
(3) 国内の関連会社等への出向	() 回	() 回
(4) 国内の出向先から戻る異動	() 回	() 回
(5) 国内から海外への異動 (出向や出向先から戻る場合を含む)	() 回	() 回
(6) 海外から国内への異動 (出向や出向先から戻る場合を含む)	() 回	() 回
(7) その他	() 回	() 回
(8) 合計	() 回	() 回

※合計は自動計算で表示

Q20 あなたが回答した異動回数は「**回 (Q17-1)」、転勤の回数は「**回 (Q18-1)」です。

これまでに経験した異動において、異動時に昇進・昇格がありましたか。「異動全体」の回数をお答えください。また、「転勤」の経験がある方は、その回数もお答えください。

(回答は半角数字で入力)

	Q20_1 異動全体で	Q20_2 転勤で
(1) 役職が上がった異動の回数	() 回	() 回
(2) 同じ役職で昇格した異動の回数	() 回	() 回
(3) 昇進も昇格もなかった異動の回数	() 回	() 回
(4) 合計	() 回	() 回

※合計は自動計算で表示

Q21 あなたが回答した異動回数は「**回 (Q17-1)」、転勤の回数は「**回 (Q18-1)」です。
 異動の主たる理由は次のどれにあたりとお考えですか。「異動全体」の回数をお答えください。
 また、「転勤」の経験がある方は、その回数もお答えください。(回答は半角数字で入力)

	Q21_1 異動全体で	Q21_2 転勤で
(1) 仕事の経験を広げるというキャリア形成上の理由からの異動の回数	() 回	() 回
(2) 異動によりポストに就くため異動の回数	() 回	() 回
(3) 組織運営上の理由による異動の回数	() 回	() 回
(4) その他の理由による異動の回数	() 回	() 回
(5) 合計	() 回	() 回

※合計は自動計算で表示

Q22 あなたが回答した異動回数は「**回 (Q17-1)」、転勤の回数は「**回 (Q18-1)」です。
 それぞれの異動は、あなたの希望に沿ったものでしたか。「異動全体」の回数をお答えください。
 また、「転勤」の経験がある方は、その回数もお答えください。(回答は半角数字で入力)

	Q21_1 異動全体で	Q21_2 転勤で
(1) 希望どおりだった異動の回数	() 回	() 回
(2) ある程度は希望どおりだった異動の回数	() 回	() 回
(3) どちらともいえない異動の回数	() 回	() 回
(4) 異動しなかった異動の回数	() 回	() 回
(5) 合計	() 回	() 回

※合計は自動計算で表示

Q23_1 国内での転勤経験がある方にうかがいます。

国内での転勤をする際に、事前に正式な転勤の内示があったのはいつごろですか。複数回の転勤経験がある方は、最も多かったものをお教えてください。(回答は1つ)

1 1か月以上前が多かった
2 3週間程度前が多かった
3 2週間程度前が多かった
4 1週間程度前が多かった
5 個別ケースにより異なる

Q23_2 海外への転勤経験がある方にうかがいます。

海外への転勤をする際に、事前に正式な転勤の内示があったのはいつごろですか。複数回の転勤経験がある方は、最も多かったものをお教えてください。(回答は1つ)

- | | |
|---|----------------|
| 1 | 3か月以上前が多かった |
| 2 | 2～3か月程度前が多かった |
| 3 | 1～2か月間程度前が多かった |
| 4 | 2～3週間程度前が多かった |
| 5 | 個別ケースにより異なる |

Q24 転勤経験がある方にうかがいます。

転勤にあたって赴任期間は明示されていましたか。複数回の転勤経験がある方は、最も多かったものをお答えください。(回答は1つ)

	明示 されていた	目安として 示されていた	明示も目安も なかったが 慣例で 予想ができた	明示も目安も なく予想も できなかった	個別ケースに より異なる
(1) 国内での転勤	1	2	3	4	5
(2) 海外への転勤	1	2	3	4	5

Q24_1 転勤が明示されていた、または目安として示されていた方にうかがいます。

明示された赴任期間は何年程度ですか。複数回の転勤経験がある方は、何年程度の期間であることが多かったかをお答えください。

※1年未満の場合、1年とお答えください。(回答は半角数字で入力)

- (1) 国内での転勤 () 年程度
 (2) 海外への転勤 () 年程度

Q25 単身赴任の経験がありますか。(回答はいくつでも)

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1 | ある |
| 2 | 転勤のときに配偶者もしくは子どもはいたが単身赴任はしなかった |
| 3 | 転勤のときに配偶者や子どもはいなかった |

Q26 異動経験がある方にうかがいます。

あなたは異動を通じてどのような経験を得ることができましたか。それぞれについて、当てはまるものをお選びください。(回答は1つ)

	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない	どちらともいえない／わからない
(1) 仕事上の能力の幅を広げること	1	2	3	4	5
(2) 仕事上の能力を深めること	1	2	3	4	5
(3) 変化への適応力の獲得	1	2	3	4	5
(4) いろいろな人材と仕事をする能力の獲得	1	2	3	4	5
(5) 幅広い人脈の構築	1	2	3	4	5
(6) 会社全体の業務を理解すること	1	2	3	4	5

Q26_1 Q26でお答えいただいた以外に、異動によって得た経験がありましたらご自由にご記入ください。
(回答は具体的に)

Q27 異動経験をトータルにみて、あなたご自身の仕事上の能力開発にプラスになったとお考えですか。
(回答は1つ)

1 大いにプラスになった

2 ややプラスになった

3 影響はなかった

4 マイナスになった

5 わからない

Q28 転勤経験がある方にうかがいます。

転勤の経験は、転勤以外の異動の経験に比べて、能力開発によりプラスになったとお考えですか。
(回答は1つ)

1 転勤経験の方が能力開発面でプラスになった

2 転勤経験と他の異動では能力開発面でのプラスの程度に違いはない

3 転勤経験でない他の異動の方が能力開発面でプラスになった

4 わからない

Q29 異勤の経験のなかで、転勤を伴わないと得ることができなかった経験がありますか。それぞれについて、当てはまるものをお選びください。(回答は1つ)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	どちらともいえない／わからない
(1) 仕事上の能力の幅を広げること	1	2	3	4	5
(2) 仕事上の能力を深めること	1	2	3	4	5
(3) 変化への適応力の獲得	1	2	3	4	5
(4) いろいろな人材と仕事をする能力の獲得	1	2	3	4	5
(5) 幅広い人脈の構築	1	2	3	4	5
(6) 会社全体の業務を理解すること	1	2	3	4	5

Q29_1 Q29 でお答えいただいた以外に、転勤を伴わないと得ることができなかった経験がありましたらご自由にご記入ください。(回答は具体的に)

--

Q30 転勤経験がある方にうかがいます。

転勤に伴って、プライベートな生活面で以下の点で支障があったことがありますか。

(回答はいくつでも)

1 配偶者・パートナーの仕事	7 持家に住めなくなる
2 子どもの教育	8 家計への負担
3 家族との関係	9 自分自身の自己啓発
4 結婚ができなくなる	10 その他 具体的に：
5 地域とのつながり	11 特になし
6 家を持つこと	

<ここからは、すべての方にうかがいます。>

Q31 勤務先の異動に関する人事施策に関して、あなたの意見や要望として当てはまるものがありますか。(回答はいくつでも)

- | | |
|----|------------------------------------|
| 1 | 専門性を深める視点から異動を行う |
| 2 | 異動の回数を減らす |
| 3 | 転勤の対象とする社員を減らす |
| 4 | 転勤する距離的な範囲を狭くする |
| 5 | 転勤は社員の同意を条件にする |
| 6 | 転勤に社員の希望(時期、場所、期間など)を反映させる |
| 7 | 子育てや介護などの個人的な事情がある社員には、一時的に転勤を免除する |
| 8 | 転勤はあっても最終の勤務地を社員が選択できるようにする |
| 9 | 転勤はあっても一年齢以上の社員には転勤を免除する |
| 10 | 転勤を受け入れた社員に対して、特別な昇給や手当など提供する |
| 11 | その他 具体的に： |
| 12 | 特になし |

Q32 あなたは、現在の勤務先で、今後転勤の可能性がありますか。(回答は1つ)

- | | |
|---|-----------|
| 1 | 必ず転勤する |
| 2 | 転勤の可能性は高い |
| 3 | 可能性は半々である |
| 4 | 転勤の可能性は低い |
| 5 | 転勤することはない |
| 6 | わからない |

Q33 あなたご自身の転勤について、入社時はどのようにお考えでしたか。また今後のことをどのようにお考えですか。(回答は1つ)

	積極的に 転勤をしたい	積極的では ないが転勤を 受け入れる	できれば転勤 したくない	絶対に転勤は したくない	特に 考えていない
(1) 入社時	1	2	3	4	5
(2) 今後のこと	1	2	3	4	5

Q33_1 今後、積極的に転勤をしたい、積極的ではないが転勤を受け入れるとお答えの方にかがいます。

転勤したいと考える理由はなんですか。(回答はいくつでも)

- 1 自分自身の仕事上の能力開発のため
- 2 魅力的な仕事ができるから
- 3 自分のやりたい仕事のためには転勤が必要だから
- 4 昇進するために転勤が必要と考えるから
- 5 行きたい勤務地があるから
- 6 その他 具体的に：
- 7 特に理由はない

Q34 転勤を受け入れるために必要な条件がありますか。(回答はいくつでも)

- 1 転勤を受け入れると賃金水準が上がる
- 2 転勤期間中に手当てが支給される
- 3 転勤と同時に昇格や昇進する
- 4 将来の昇進に当たって転勤経験が有利になる
- 5 転勤時に赴任期間を明示してくれる
- 6 家族の仕事や学校などの支援をしてくれる
- 7 その他 具体的に：
- 8 特にない

Q35_1 転勤を受け入れる社員と受け入れない社員との間の処遇を変えることについて、どのようにお考えですか。賃金、昇進可能性、雇用保障の3つについて、許容できる処遇の水準をお答えください。

賃金水準：転勤を受け入れる社員に比べて転勤を受け入れない社員の賃金水準（回答は1つ）

- 1 同じ水準にするべき
- 2 1割程度低い水準でもやむを得ない
- 3 2割程度低い水準でもやむを得ない
- 4 3割程度以上低い水準でもやむを得ない
- 5 その他

Q35_2 昇進・昇格：転勤を受け入れる社員に比べて転勤を受け入れない社員の昇進・昇格の上限

(回答は1つ)

- 1 同じ水準にするべき
- 2 低い水準でもやむを得ない
- 3 その他

Q35_3 雇用保障：通勤圏内の事業所が閉鎖となった場合の転勤を受け入れない社員の雇用保障

(回答は1つ)

1 転勤を受け入れる社員と同様にするべきである
2 転勤を受け入れる社員と比べて雇用保障の程度が低くてもやむを得ない
3 その他

Q36 あなたの許容できる処遇の水準として、以下のようにお答えになりました。

Q35_1 賃金水準 【回答引用】 Q35_2 昇進・昇格 【回答引用】 Q35_3 雇用保障 【回答引用】

あなたが Q35-1～3 で答えた許容できる処遇の水準で、転勤がない働き方で働けるとしたら、あなたは転勤がない働き方を希望しますか。(回答は1つ)

1 希望する
2 希望しない

<ここからは仕事に対する意識についてうかがいます。>

Q37 以下にあげる項目についてどの程度満足していますか。(回答は1つ)

	満足 していない	あまり満足 していない	どちらとも いえない	やや満足 している	満足 している
(1) 仕事の内容	1	2	3	4	5
(2) 昇進	1	2	3	4	5
(3) 仕事を通じた自身の成長	1	2	3	4	5
(4) これまでの仕事経験	1	2	3	4	5
(5) 仕事全般	1	2	3	4	5

Q38 以下にあげる項目についてあなたはどの程度あてはまりますか。(回答は1つ)

	あてはまら ない	あまりあて はまらない	どちらとも いえない	やや あてはまる	あてはまる
(1) 社内にいろいろな人脈があること	1	2	3	4	5
(2) 社外にいろいろな人脈があること	1	2	3	4	5
(3) 多様な人と一緒に仕事ができること	1	2	3	4	5
(4) 新しい環境に柔軟に適應できること	1	2	3	4	5
(5) 困難なことに挑戦すること	1	2	3	4	5

Q39 現在の勤務先で仕事を続けることについてどのようにお考えですか。(回答は1つ)

- 1 ぜひ勤続したい
- 2 できれば勤続したい
- 3 条件による
- 4 できれば勤続したくない
- 5 すぐにでも辞めたい

Q40 あなたは今後どの役職まで昇進したいとお考えですか。(回答は1つ)

- 1 役員クラス以上まで
- 2 部長クラスまで
- 3 課長クラスまで
- 4 主任・係長クラスまで
- 5 役職には就きたくない

Q41 あなたは将来どのようなキャリアを築いていこうと考えていますか。最も当てはまるものを1つお答えください。(回答は1つ)

- 1 今の会社でいろいろな業務を経験し、管理職として能力を発揮したい
- 2 いずれは他社に転職し、管理職として能力を発揮したい
- 3 今の会社で自分の専門能力を活かし、専門職として活躍したい
- 4 いずれは他社に転職し、専門職として活躍したい
- 5 今の会社で地位や仕事にとらわれずに定年まで勤めたい
- 6 勤め先や地位、仕事にとらわれずに定年まで勤めたい
- 7 いずれは独立を考えている
- 8 仕事をどこかで辞めるつもりである
- 9 特に希望はない

<最後に、あなたご自身についてうかがいます。>

Q42 あなたの性別をお答えください。(回答は1つ)

1 男性
2 女性

Q43_1 あなたの生年月をお答えください(生まれた年(西暦))。(回答は1つ)

1 1985年	6 1980年	11 1975年	16 1970年
2 1984年	7 1979年	12 1974年	17 1969年
3 1983年	8 1978年	13 1973年	18 1968年
4 1982年	9 1977年	14 1972年	19 1967年
5 1981年	10 1976年	15 1971年	20 1966年
			21 1965年

Q43_2 あなたの生年月をお答えください(生まれた月)。(回答は1つ)

1 1月	4 4月	7 7月	10 10月
2 2月	5 5月	8 8月	11 11月
3 3月	6 6月	9 9月	12 12月

Q44 現在の居住地をお答えください。(回答は1つ)

1 北海道	13 東京都	25 滋賀県	37 香川県
2 青森県	14 神奈川県	26 京都府	38 愛媛県
3 岩手県	15 新潟県	27 大阪府	39 高知県
4 宮城県	16 富山県	28 兵庫県	40 福岡県
5 秋田県	17 石川県	29 奈良県	41 佐賀県
6 山形県	18 福井県	30 和歌山県	42 長崎県
7 福島県	19 山梨県	31 鳥取県	43 熊本県
8 茨城県	20 長野県	32 島根県	44 大分県
9 栃木県	21 岐阜県	33 岡山県	45 宮崎県
10 群馬県	22 静岡県	34 広島県	46 鹿児島県
11 埼玉県	23 愛知県	35 山口県	47 沖縄県
12 千葉県	24 三重県	36 徳島県	

Q45 あなたにとっての本拠地はどこだとお考えですか。(回答は1つ)

1 北海道	13 東京都	25 滋賀県	37 香川県
2 青森県	14 神奈川県	26 京都府	38 愛媛県
3 岩手県	15 新潟県	27 大阪府	39 高知県
4 宮城県	16 富山県	28 兵庫県	40 福岡県
5 秋田県	17 石川県	29 奈良県	41 佐賀県
6 山形県	18 福井県	30 和歌山県	42 長崎県
7 福島県	19 山梨県	31 鳥取県	43 熊本県
8 茨城県	20 長野県	32 島根県	44 大分県
9 栃木県	21 岐阜県	33 岡山県	45 宮崎県
10 群馬県	22 静岡県	34 広島県	46 鹿児島県
11 埼玉県	23 愛知県	35 山口県	47 沖縄県
12 千葉県	24 三重県	36 徳島県	48 海外
			49 特にない

Q45_1 あなたは本拠地を「** (Q45)」とお答えになりました。その場所を本拠地と考える理由をお答えください。(回答はいくつでも)

1 出身地だから
2 本社があるから
3 本社ではないが勤務地があるから
4 家族がいるから
5 自宅があるから
6 その他 具体的に：
7 特に理由はない

Q46 現在の婚姻状況（事実婚を含む）をお答えください。(回答は1つ)

1 結婚したことがない
2 現在結婚している（事実婚を含む）
3 離別・死別したことがあり、現在は結婚していない

Q46_1 現在結婚している方にうかがいます。現在配偶者と同居していますか。(回答は1つ)

1 同居している
2 同居していない

Q46_2 あなたの配偶者の就業状況をお答えください。(回答は1つ)

- 1 正社員・職員の仕事をしている
- 2 パートタイムなど非正規の仕事をしている
- 3 自営業、自由業
- 4 仕事をしていない

Q46_3 配偶者が正社員・職員の仕事をしているとお答えの方にはうかがいます。

配偶者は転勤の可能性がありますか。

- 1 転勤の可能性はある
- 2 転勤の可能性はない
- 3 わからない

Q47 子どもの有無をお答えください。(回答は1つ)

- 1 子どもがいる
- 2 子どもはいない

Q47_1 子どもがいる方にうかがいます。子どもの人数をお答えください。(回答は半角数字で入力)

() 人

Q47_2 一番下の子どもの年代として、当てはまるものを1つお答えください。

- 1 未就学児
- 2 小学生
- 3 中学生
- 4 高校生
- 5 18歳以上

Q48 介護が必要なご家族はいらっしゃいますか。(回答はいくつでも)

- 1 同居している中に、介護が必要な家族がいる
- 2 同居はしていないが、介護が必要な家族がいる
- 3 介護が必要な家族はいない

Q49 あなたの現在の居住形態について、当てはまるものをお選びください。(回答は1つ)

- 1 持ち家があり、住んでいる
- 2 持ち家はあるが、住んでいない
- 3 持ち家はない